

# 索引

## 英 字 ページ

「525p色マトリックス」設定...23
B-CASカードテスト .....47
B-CASカードの挿入 .....52
BS DIGITAL表示 .....31
CS受信選択 .....47
D-VHSビデオデッキの接続...56
「ED2検出」設定 .....25
GR .....17
「i.LINK待機」の設定 .....63
「ID-1検出」設定 .....24
Irシステムケーブルの接続...54
Irシステムの設定 .....58

## あ 行 ページ

アッテネーター .....27
アナログ接続設定 .....64
アンテナ設定 .....27
アンテナ線の接続 .....50
アンテナ入力レベル .....45
衛星アンテナ設定 .....44
「衛星初期設定」画面 .....35
衛星チャンネル設定 .....42
「衛星チャンネル設定」画面...35
「衛星デジタル設定」画面...34
オートサーチ .....8
オート設定 .....12
音声出力 .....33

## か 行 ページ

回線設定 .....37
「外部入力」の設定 .....60
県域設定 .....41
ゴースト .....17

## さ 行 ページ

市外局番オート設定 .....10
市外局番チャンネル一覧表...18
受信設定 .....46
「初期設定メニュー」 .....6
設定項目リセット .....46
セルフワイド .....20
「その他の設定」画面 .....6

## た 行 ページ

ダウンロード .....48
地域設定画面 .....40
地域設定取消し .....41
地磁気補正 .....21
チャンネル設定 .....8
「チャンネル設定」メニュー...7
デジタル音声出力の設定...62
デジタル音声端子付きオーディオ機器の接続...57
デジタル音声 - ロック連動...30
デジタルシネマリアリティ...28
テスト(Irシステム).....61
転倒防止 .....5
電話回線の接続 .....53
「電話設定」画面 .....36
電話テスト .....39
トーン検出の設定 .....37
飛びこし選局 .....15

## な 行 ページ

内線設定 .....38
入力スキップ .....29

## は 行 ページ

発信者番号通知 .....39
微調整 .....16
「ビデオ入力表示書換」設定...26
表示書換 .....15

## ま 行 ページ

マニュアル設定 .....14
右画面操作 .....32
「メーカー」の設定 .....59
「モニター出力停止」設定...22

## や 行 ページ

郵便番号 .....41
予備-1 ~ 予備-23 .....9、14

## ら 行 ページ

「リモコン種別」の設定 .....59
録画機器の接続 .....55
ワイドクリアビジョン .....25

BSデジタルハイビジョンテレビ 取扱説明書(設置/接続と各種の設定)

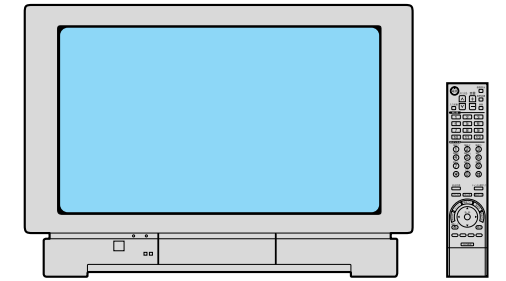
# HITACHI

日立BSデジタルハイビジョンテレビ

形名

## 32CL-DH2200 36CL-DH2200

## 取扱説明書



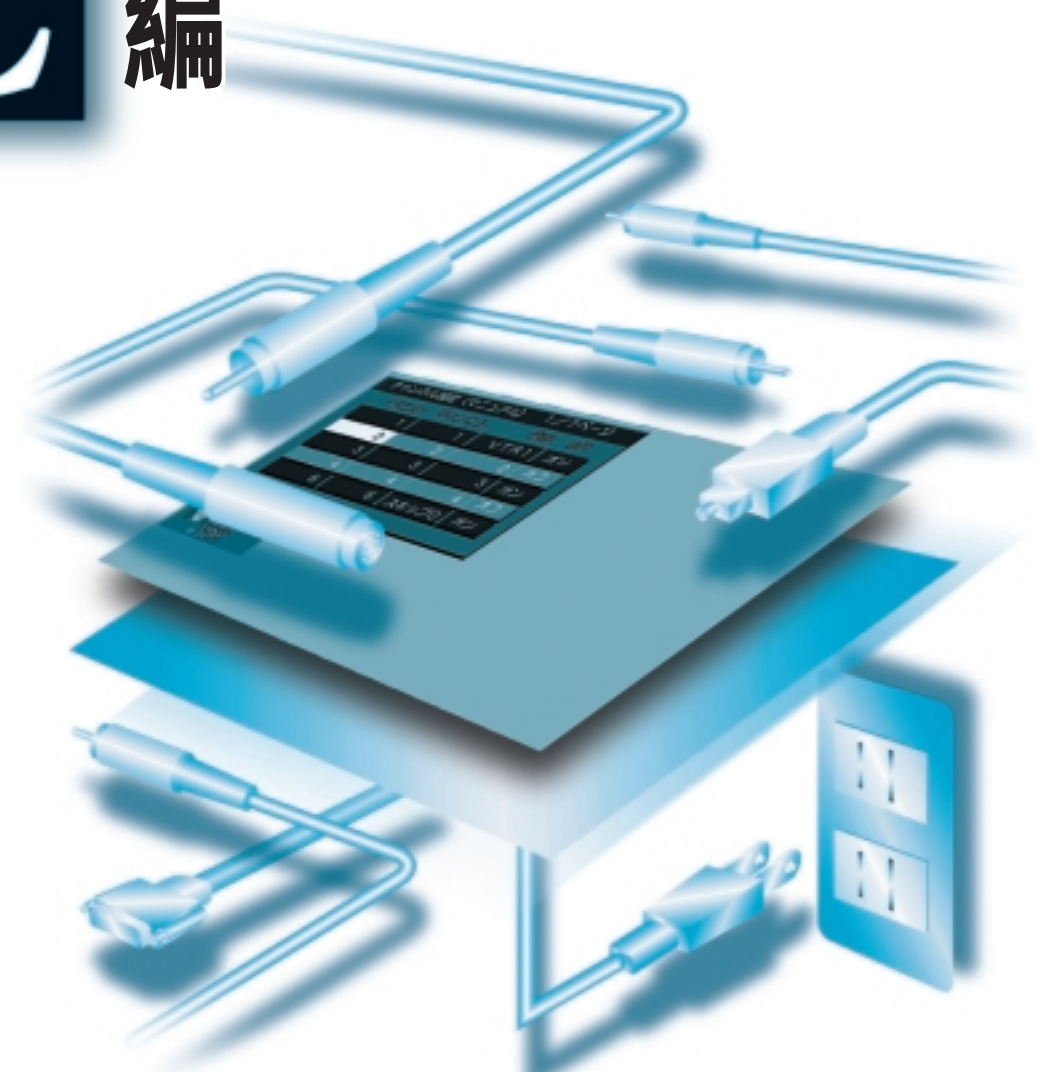
110度CSデジタル対応



**設置 / 接続と設定** はじめてこのテレビを使うとき、機器の接続や各種の設定などはこの冊子

## 編

# Connection



株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29 アクロポリス東京  
☎(03)3260-9611

S0402-0A

Hitachi Living Systemsは  
日立リビングサプライの英文社名です

●この取扱説明書は、32形(32CL-DH2200)と36形(36CL-DH2200)共用です。

TQZW232

電源を入れる前に

テレビを視聴するための設定  
設定画面の出した受信チャンネルの設定 各機能の設定

設定画面の出した

電話設定

地域設定


衛星デジタルを視聴するための設定  
衛星チャンネルの設定 衛星アンテナの設定

その他

接続

外部機器の接続  
接続後の設定

- この説明書と別冊の「テレビの使い方」、「衛星デジタルの応用／機器操作」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ご使用のまえに、「テレビの使い方」の安全上のご注意を必ずお読みください。
- 説明書は、目的の内容がすぐに見つかるよう、分冊にしています。各説明書の主な内容は表紙に書いてあります。




**HITACHI**  
日立BSデジタルハイビジョンテレビ  
形名  
32CL-DH2200 取扱説明書  
36CL-DH2200

11冊中9冊目  
C編  
設置／接続と設定

**設置／接続と設定 (C編)**  
Connectionの「C」です  
読む順番を意味するものではありません。

はじめて本機を設置するとき  
外部機器を接続したい  
設置場所を変えたい  
各種の設定を変更したい




**HITACHI**  
日立BSデジタルハイビジョンテレビ  
形名  
32CL-DH2200 取扱説明書  
36CL-DH2200

11冊中10冊目  
B編  
テレビの使い方

**テレビの使い方 (B編)**  
Basicの「B」です  
読む順番を意味するものではありません。

ふつうのテレビとして使いたい  
画質や音質を調整したい  
タイマーで電源を切りたい  
2画面の機能を使いたい  
ワイド画面の使い方が知りたい  
思い通りにならないとき  
／故障かな?と思うとき



**HITACHI**  
日立BSデジタルハイビジョンテレビ  
形名  
32CL-DH2200 取扱説明書  
36CL-DH2200

11冊中11冊目  
A編  
衛星デジタルの応用／機器操作

**衛星デジタルの応用／機器操作 (A編)**  
Applicationの「A」です  
読む順番を意味するものではありません。

番組表を見たい  
番組を予約したい  
番組を検索したい  
有料番組が見たい  
視聴条件の設定について  
i.LINKについて  
D-VHSビデオデッキを使いたい

電源を入れる前に 4 ページ～

テレビを視聴するための設定

設定画面の出しかた 6 ページ～

受信チャンネルの設定 8 ページ～

- チャンネル設定について.....8
- 市外局番オート設定をする.....10
- オート設定をする.....12
- マニュアル設定をする.....14
- 受信チャンネルを微調整する.....16
- ゴーストを目立たなくしたいとき.....17
- 市外局番チャンネル一覧表.....18

衛星デジタルを視聴するための設定

設定画面の出しかた 34 ページ～

電話設定 36 ページ～

地域設定 40 ページ～

衛星チャンネルの設定 42 ページ～

外部機器の接続

接続 50 ページ～

- アンテナ線の接続.....50
- B-CASカードの挿入.....52
- 電話回線の接続.....53
- Irシステムケーブルを接続する.....54
- 録画機器を接続する.....55
- i.LINK対応のD-VHSビデオデッキ.....56
- デジタル音声入力端子付きオーディオ機器...57

各機能の設定 20 ページ～

- 自動で拡大画面にしたくないとき.....20
- 映像の傾きの調整.....21
- ビデオなどを接続するとき.....22
- コンポーネントビデオ入力に525p  
(順次走査)信号を入力時の設定.....23
- ビデオ入力などのとき、  
自動的に画面サイズを切替える.....24
- 「ワイドクリアビジョン」を受信したとき、  
自動的に画面サイズを切替える.....25
- ビデオ入力の表示を書き換える.....26
- 映像が不安定になるとき.....27
- 映画フィルムで撮影された映像を忠実に再生する.....28
- 接続の無い外部入力をスキップさせる...29
- デジタル音声 - ロック連動の設定.....30
- BS DIGITAL表示を点灯させないとき...31
- 右画面の操作を優先させたいとき.....32
- 音声を聞きたい画面を切替える.....33

衛星アンテナ設定 44 ページ～

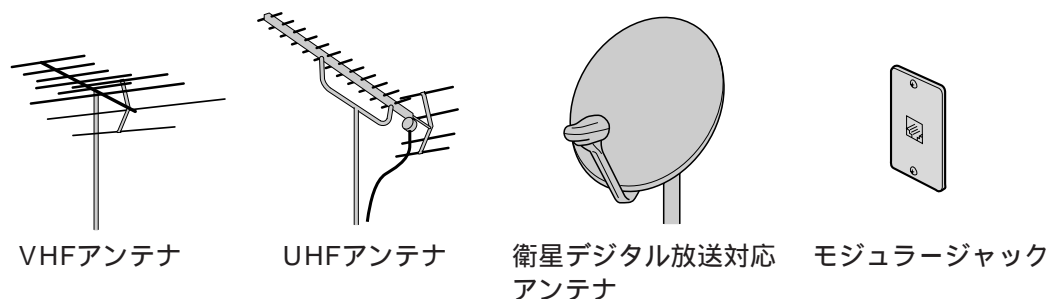
その他 46 ページ～

- 受信設定.....46
- 設定項目リセット.....46
- CS受信選択.....47
- B-CASカードテスト.....47
- ダウンロードについて.....48

接続後の設定 58 ページ～

- Irシステムの設定.....58
- ・「Irシステム」の設定.....59
- ・「メーカー」の設定.....59
- ・「リモコン種別」の設定.....59
- ・「外部入力」の設定.....60
- ・テスト.....61
- デジタル音声出力の設定.....62
- i.LINK待機の設定.....63
- アナログ接続設定.....64

## 1 アンテナや電話回線は正しく接続されていますか (☞ 50、53ページ)



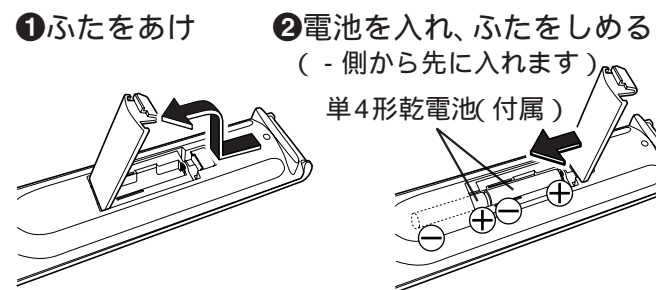
110度CSデジタル放送を受信する場合、110度CSデジタル対応の衛星アンテナが必要です。

## 2 ビデオなどは正しく接続されていますか

ビデオカメラ	☞ B編：20ページ
ゲーム機	☞ B編：19ページ
録画機器	☞ 55ページ
D-VHSビデオデッキ	☞ 56ページ
オーディオ機器	☞ 57ページ

## 3 B-CASカードを挿入する (☞ 52ページ)

## 4 リモコンに電池を入れてください



電池の破裂や液もれを防ぐため

- 種類の違うものや新・旧を混ぜたり、充電式(Ni-Cd)電池は使わない。
- 電池は充電できません。
- 可燃ゴミに混ぜたり、燃やしたり、分解したりしない。
- 消耗した電池は入れたままにしない。

### お願い

- リモコンに液状のものをかけないように。
- リモコンを落とさないように。

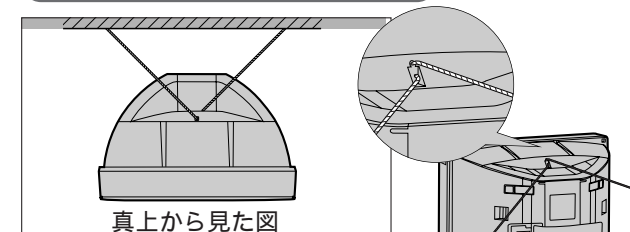
## 5 安全確保のため転倒防止をしてください

地震の場合や、テレビに登ったり、揺すったりすると倒れる恐れがあります。

### テレビ台に固定するには

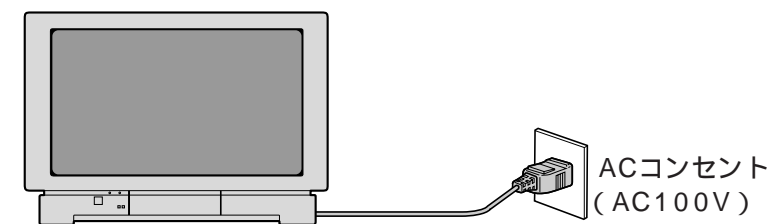
専用のテレビ台(別売り)との固定は、テレビ台の取扱説明書をご覧ください。

### 壁面に固定するには



- じょうぶなひもやクサリなどで壁や柱など堅牢部にしっかり固定してください。

## 6 電源プラグは差し込まれていますか



## 7 電源を「入」にし、各種設定をしてください

●各ページのイラストはイメージイラストであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

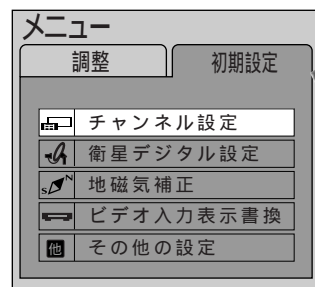
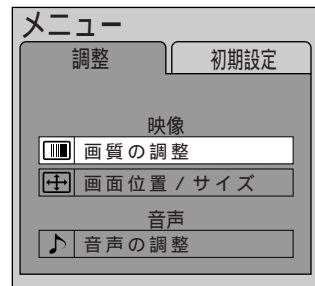


# 「初期設定」メニュー / 「その他の設定」 画面を出すとき

「メニュー」画面は、本機の各設定や、調整を行うための入り口です。  
また、「その他の設定」画面や「チャンネル設定」画面は、「メニュー」画面から  
階層状に選択します。ここでは、各設定画面の入り口までの案内をしています。

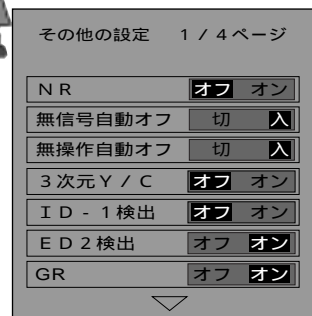
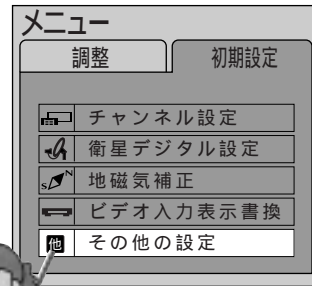
## 「初期設定」メニューを出す

- 1 押して、「メニュー」画面を出す
- 2 押して、「初期設定」メニューを選ぶ



## 「その他の設定」画面を出す

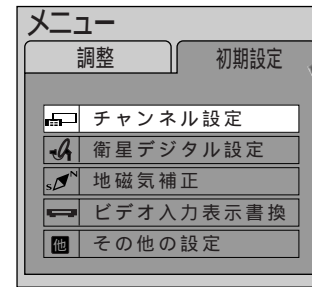
- 2 押して、「その他の設定」を選び  
中央の決定ボタンを押す



# 「チャンネル設定」画面を出すとき

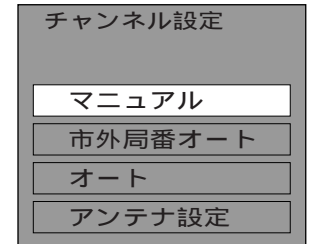
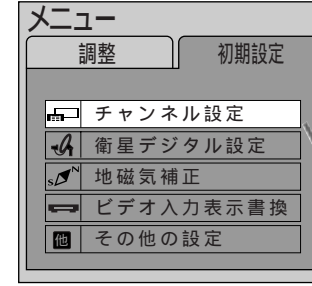
## 「初期設定」メニューを出す

- 1 押して、「メニュー」画面を出す
- 2 押して、「初期設定」メニューを選ぶ



## 「チャンネル設定」メニューを出す

- 2 押して、「チャンネル設定」を選び  
中央の決定ボタンを3秒以上押して、「チャンネル設定」画面にする



# チャンネル設定について

VHF(1~12)は、工場出荷時に設定済みです。従って、次の場合に設定してください。

- UHF放送が受信できる地域。
- CATVや地域共聴、マンションなど。また、共同受信でテレビチャンネルが変換されていて、ご希望のチャンネルが受信できない場合。
- 転宅(引っ越し)でチャンネルが異なる場合。

## 「チャンネル設定」の種類(3種類あります)

### 「市外局番オート」設定(📖10ページ)

自動的に「市外局番チャンネル一覧表」(18~19ページ)の放送チャンネルを設定します。また、設定されたチャンネルがご使用になる地域で実際に受信できるかを自動的に調べます。(オートサーチを約2分間行います。)

- VHF/UHF放送(1~62ch)、CATV(C13~C39)の順に、放送の有無を調べます。
- 「市外局番チャンネル一覧表」に記載されている放送局が、実際には受信できなかったときは、自動的にそのチャンネルがスキップ設定されます。(飛びこし選局📖15ページ)
- 「市外局番チャンネル一覧表」に記載されていない放送局が、新たに受信できたときは、空きチャンネルに追加設定します。

例 大阪府(06)でオート設定をする場合

京都テレビが受信できず、新たにNHK教育(26チャンネル)が受信できたとき。

リモコン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
放送局名	NHK教育大阪	NHK総合大阪	テレビ大阪	毎日放送		ABCテレビ	京都テレビ	関西テレビ	サンテレビ	読売テレビ		NHK教育大阪
チャンネル	26	2	19	4		6	34	8	36	10		12
表示	26	2	19	4		6	0	8	36	10		12

電波が弱かったなどで受信できなかった放送スキップ(飛びこし)選局となり表示チャンネルが「0」に設定されます。

### 「オート」設定(📖12ページ)

オート設定を選ぶと、実際に受信可能な局だけを調べて、リモコンのボタン **1** から順番にチャンネル設定します。お住まいの地域の「市外局番」と「実際に受信できる放送局」が一致しない場合に便利です。

### 「マニュアル」設定(📖14ページ)

お好みに合わせて、1チャンネルずつお客様ご自身で設定できます。

#### お知らせ

オートサーチは...

- 電波の状態によっては、きれいに受信できるチャンネルを飛ばしたり、ノイズ画面のチャンネルを設定することがあります。このときは、マニュアル設定で、そのチャンネルの登録や削除を行ってください。

設定操作はリモコン、本体のどちらでも可能ですが、設定の途中でリモコン操作を本体操作に変えることはできません。(その逆もできません。)

ここではリモコンで設定する場合の説明をしています。

## マニュアル設定画面について

画面右上に表示されるチャンネル番号です。14、15ページの方法で書き換えた場合はその番号になります。  
 「表示」を「スキップ0」に設定すると本体やリモコンの **▲ ▼** ボタンでそのチャンネルをスキップ(飛びこし)します。

実際に放送されている局のチャンネル番号です。

リモコン	チャンネル	表示	GR
1	1	1	オン
2	2	2	オン
3	3	3	オフ
4	4	4	オン
5	5	5	オン

「GR」機能の設定状態を示します。

テレビ本体のボタンで設定するときは、説明内容が変わります。

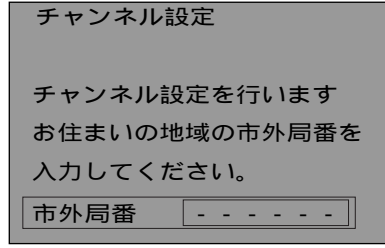
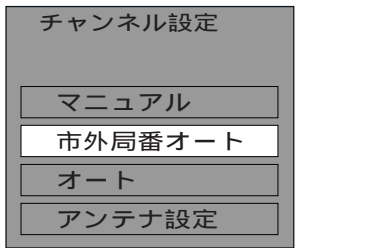
リモコンの直接選局のボタン番号を示します。数字以外に予備-1、予備-2、なども表示されます。これは、リモコンのボタンでは足りないときの予備です。「予備-1~予備-23」に設定したチャンネルは **▲ ▼** ボタンでご覧になれます。

# 市外局番オート設定をする

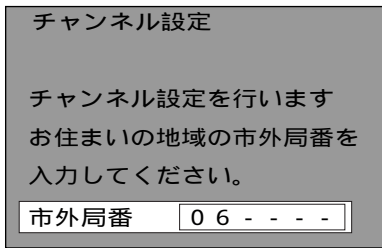
**まず、** ●テレビの電源を入れ、放送しているチャンネルを選ぶ。  
●6、7ページの操作で「チャンネル設定」メニューを出し、次の操作で設定します。



**1** 押して、「市外局番オート」の項目を選び中央の決定ボタンを押す



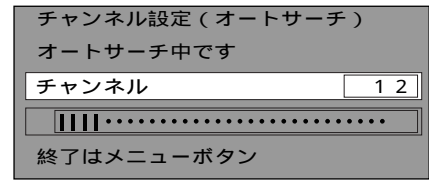
**2** 押して、市外局番を入力する



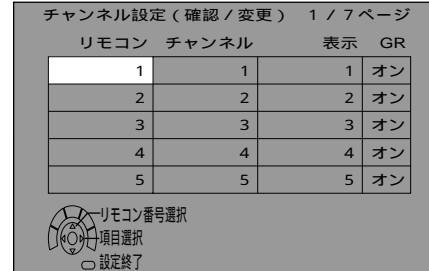
押して、番号を入力し  
 押して、次の桁に移動する

●市外局番一覧表は (P.18ページ)

**3** 入力した市外局番を確認し、中央の決定ボタンを押す



2~3分後



**4** 押して、設定内容を確認する

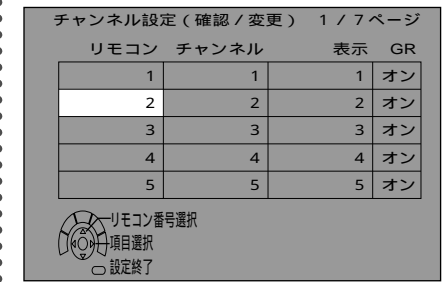


変更したい設定があるときは

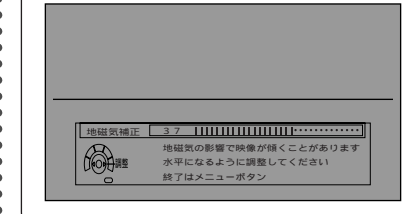
を押して変更する

●マニュアル設定 (P.14ページ) と同様の方法で設定できます。

**5** 設定内容を確認したら押す



を押すと「地磁気補正」の画面になります。21ページの②、③の手順で設定してください。



**お知らせ**

●市外局番は、リモコンの衛星デジタル選局ボタン (0 ~ 9) でも入力できます。

**お知らせ**

●オートサーチを途中で中止するときは、 を押す。この場合、チャンネルは市外局番一覧表 (P.18ページ) の設定となります。

# オート設定をする

**まず、** ●テレビの電源を入れ、放送しているチャンネルを選ぶ。  
●6、7ページの操作で「チャンネル設定」メニューを出し、次の操作で設定します。



**1**

押して、「オート」の項目を選び中央の決定ボタンを押す

**2**

押して、設定内容を確認する

**3**

設定内容を確認したら押す

チャンネル設定

- マニュアル
- 市外局番オート
- オート**
- アンテナ設定

チャンネル設定 (確認/変更) 1 / 7 ページ

リモコン	チャンネル	表示	GR
1	1	1	オン
2	2	2	オン
3	3	3	オン
4	4	4	オン
5	5	5	オン

リモコン番号選択  
項目選択  
設定終了

チャンネル設定 (確認/変更) 1 / 7 ページ

リモコン	チャンネル	表示	GR
1	1	1	オン
2	2	2	オン
3	3	3	オン
4	4	4	オン
5	5	5	オン

リモコン番号選択  
項目選択  
設定終了

チャンネル設定 (オートサーチ)  
オートサーチ中です

チャンネル

終了はメニューボタン

変更したい設定があるときは

を押して変更する

- マニュアル設定 (14ページ) と同様の方法で設定できます。

「戻る」を押すと「地磁気補正」の画面になります。

21ページの②、③の手順で設定してください。

**お知らせ**

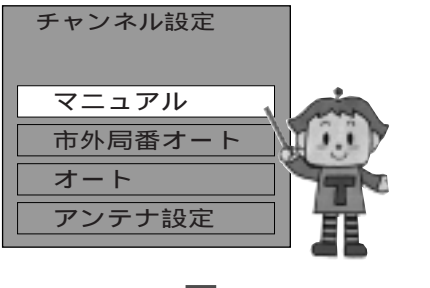
●オートサーチを途中で中止するときは **メニュー** を押す。この場合、チャンネルは設定されません。

# マニュアル設定をする

**まず、** ●テレビの電源を入れ、放送しているチャンネルを選ぶ。  
●6、7ページの操作で「チャンネル設定」メニューを出し、次の操作で設定します。



**1** 押して、「マニュアル」の項目を選び、中央の決定ボタンを押す



チャンネル設定 (マニュアル) 1 / 7 ページ

リモコン	チャンネル	表示	GR
1	1	1	オン
2	2	2	オン
3	3	3	オン
4	4	4	オン
5	5	5	オン

**2** 押して、設定したいリモコンの番号を選ぶ

チャンネル設定 (マニュアル) 1 / 7 ページ

リモコン	チャンネル	表示	GR
1	1	1	オン
2	2	2	オン
3	3	3	オン
4	4	4	オン
5	5	5	オン

**例** リモコンの「3」を選ぶ  
「リモコン」の項目は  
「1～12→予備-1～予備-23」  
の順に変化します。  
(自動的にページ送りします。)  
押し続けると早く変化します。  
チャンネル **▲** **▼** ボタンでも  
操作できます。

**メモ** 表示は次のようなときに書き換えると便利です。  
●マンションなどの共同受信で放送と画面の表示が一致しないとき。  
●順送り選局のときに放送のないチャンネル(ノイズ画面)が出ないようにしたいとき。  
( ●「表示」を「スキップ0」に設定すると、本体やリモコンのチャンネル **▲** **▼** ボタンの操作でそのチャンネルをスキップ(飛びこし)して選局します。 )

**3** 押して、「チャンネル」の項目を選び、押して、設定する

チャンネル設定 (マニュアル) 1 / 7 ページ

リモコン	チャンネル	表示	GR
1	1	スキップ0	オン
2	2	2	オン
3	19	3	オン
4	4	4	オン
5	5	5	オン

**例** 「19」チャンネルを受信  
「チャンネル」は  
「1～62→C13～C39」  
の順に変化します。  
押し続けると早く変化します。

**4** 押して、「表示」の項目を選び、押して、設定する

チャンネル設定 (マニュアル) 1 / 7 ページ

リモコン	チャンネル	表示	GR
1	1	スキップ0	オン
2	2	2	オン
3	19	3	オン
4	4	4	オン
5	5	スキップ0	オン

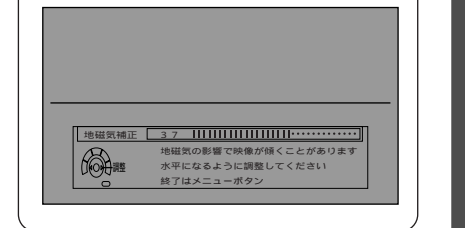
**例** 「3」に書き換える  
「表示」は選局したとき画面に表示する番号です。  
「スキップ0～99→C13～C39→VTR」  
「表示なし→BS-1～BS-15→VTR1～VTR9」  
の順に変化します。  
押し続けると早く変化します。  
放送のないチャンネルを飛びこし選局するときは表示を「スキップ0」にします。  
続けて他のチャンネルも設定するときは手順**2**～**4**の操作をくり返してください。

**5** 設定内容を確認したら押す

チャンネル設定 (マニュアル) 1 / 7 ページ

リモコン	チャンネル	表示	GR
1	1	スキップ0	オン
2	2	2	オン
3	19	3	オン
4	4	4	オン
5	5	スキップ0	オン

**戻る** を押すと「地磁気補正」の画面になります。  
21ページの**2**、**3**の手順で設定してください。



**お知らせ**

予備-1～予備-23について  
リモコンのボタンだけで足りないときの予備です。  
予備-1～予備-23に設定したチャンネルは、本体またはリモコンのチャンネル **▲** **▼** ボタンで選んでください。



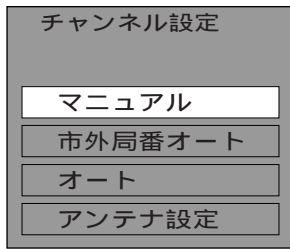
# 受信チャンネルを微調整する

ご使用になる地域やCATV受信地域、マンションの共同受信システムなどで、調整を少しずらしたほうが見やすくなるときに調整します。

**まず、** ● 微調整したいチャンネルを選ぶ。  
● 6、7ページの操作で「チャンネル設定」メニューにする。

**1** 押して、「マニュアル」の項目を選び、中央の決定ボタンを押す

約3秒間押して、「微調整」画面にする



チャンネル設定 (マニュアル) 1 / 7ページ

リモコン	チャンネル	表示	GR
1	1	1	オン
2	2	2	オン
3	3	3	オン
4	4	4	オン
5	5	5	オン

微調整 0

**2** 押して、調整する  
(見やすいところで手をはなす)

微調整 + 14

約10秒間、ボタン操作をしないと①の画面に戻ります。

「微調整」を表示中にメニューを押すと①の画面に戻ります。

設定が終わったら

元の画面 ボタンを押す

戻る ボタンを押すと地磁気補正画面になります。

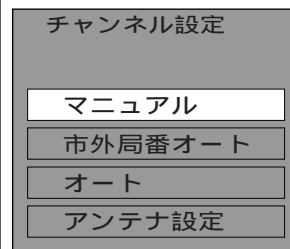


# ゴーストを目立たなくしたいとき

テレビ電波のゴースト(2重、3重の映像)があるチャンネルをGR「オン」に設定すると、ゴーストの軽減された映像がお楽しみいただけます。

**まず、** 6、7ページの操作で「チャンネル設定」メニューを出し、次の操作で設定します。

**1** 押して、「マニュアル」の項目を選び、中央の決定ボタンを押す



チャンネル設定 (マニュアル) 1 / 7ページ

リモコン	チャンネル	表示	GR
1	1	1	オン
2	2	2	オン
3	3	3	オン
4	4	4	オン
5	5	5	オン

**2** で設定したいチャンネルを選び

3回押して「GR」の項目にする

チャンネル設定 (マニュアル) 1 / 7ページ

リモコン	チャンネル	表示	GR
1	1	1	オン
2	2	2	オン
3	3	3	オフ
4	4	4	オン
5	5	5	オン

**3** 押して、「オン」「オフ」を設定する

「オン」.....ゴーストのあるチャンネルのとき

「オフ」.....ゴーストが目立たないチャンネルのとき

設定が終わったら

元の画面 ボタンを押す

戻る ボタンを押すと地磁気補正画面になります。

## お知らせ

- ゴースト除去に効果があるのは、放送局からの電波(「ゴースト除去基準信号」が含まれた放送)を受像するときです。ビデオの再生画像などには効果がありません。
- ゴースト除去は選局して約3秒後に大きなゴーストを軽減させ、その後残ったゴーストを順次軽減します。
- 電波が弱い場合、大きなゴーストを軽減させたとき新たなゴーストがつく場合がありますが徐々に軽減されます。
- アンテナの設置・調整時は、GR「オフ」にしてください。
- 画面表示ボタンを押して「GRオフ」または「GCR信号なし」と表示された場合はGR機能は動作しません。
- 次のような場合、GR「オフ」でご覧ください(ゴースト除去の効果が十分に得られないことがあります)。
  - ・アンテナが正確に設置・調整されていないとき(室内アンテナなど)
  - ・過大なゴーストのとき(ゴーストが残ります。)
  - ・飛行機に反射しているゴーストなど変化しているゴーストのとき
  - ・多数(10波以上)のゴーストがあるとき
- 衛星デジタル放送はGR設定できません。

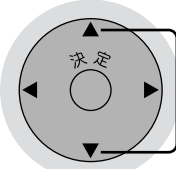


# 自動で拡大画面にしたくないとき

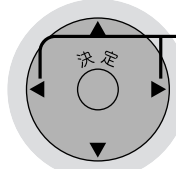
「セルフワイド」機能で、4：3の普通の映像をそのまま見るときに設定します。

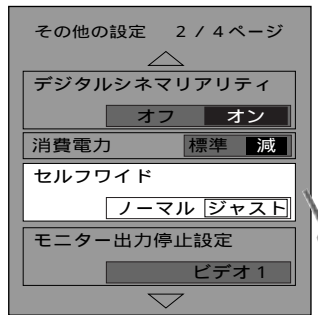

まず、6ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。

**1** 押して、「セルフワイド」の項目を選ぶ



**2** 押して、「ノーマル」を選ぶ



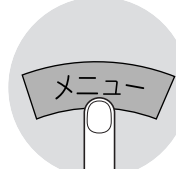
セルフワイド

ノーマル ジャスト

4：3の映像のとき「ノーマル」画面になります。

4：3の映像のとき「ジャスト」画面になります。

押して、終了する



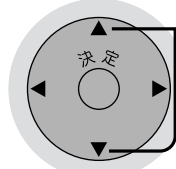


# 映像の傾きの調整 「地磁気補正」

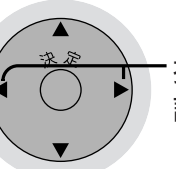
本機の設置場所を変えたときなど、地磁気の影響で映像が少し傾いたときに調整します。

まず、①電源を「切」にし、テレビの設置場所を決める。②電源を入れて、テレビ画面にする。③約20分後6ページの操作で「初期設定」メニューを出し、次の操作で設定します。

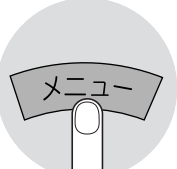
**1** 押して、「地磁気補正」の項目を選び



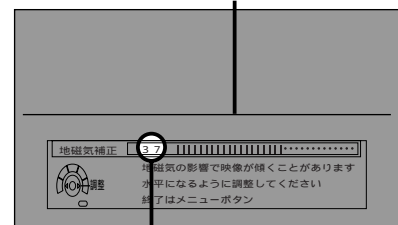
**2** 押して、調整し



**3** 押して、設定を終了する

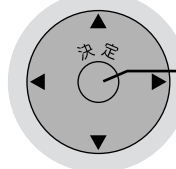


水平になるように調節する



調整値


中央の決定ボタンを3秒以上押す



メニュー


調整 初期設定

チャンネル設定	
衛星デジタル設定	
地磁気補正	37
ビデオ入力表示書換	
その他の設定	



画面の向き	調整値の目安
北	10 付近
東・西	31 付近
南	50 付近


約5秒後



**お知らせ**

「その他の設定」画面は4ページ構成です。

で項目を送ると自動的にページが変わります。

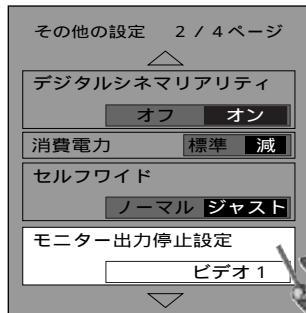
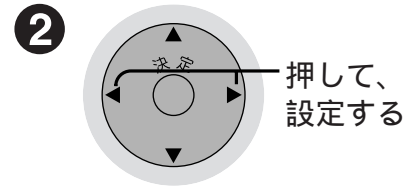
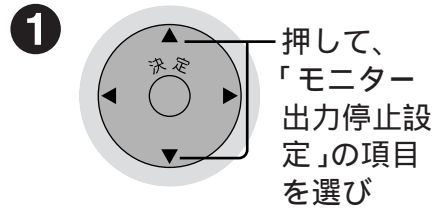


# ビデオなどを接続するとき

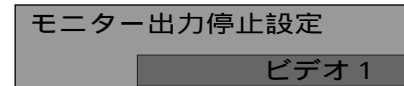
「モニター出力停止設定」  
ビデオ入力1～4、色差ビデオ1～2およびi.LINK端子に接続した機器の映像・音声を、モニター出力させない設定です。

まず、6ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。

## 「モニター出力停止設定」を切替える



●「その他の設定」画面は4ページ構成です。  
 で項目を送ると自動的にページが変わります。



- 「ビデオ1」...「ビデオ入力1」の映像・音声を出力しません。
- 「ビデオ2」...「ビデオ入力2」の映像・音声を出力しません。
- 「ビデオ3」...「ビデオ入力3」の映像・音声を出力しません。
- 「ビデオ4」...「ビデオ入力4」の映像・音声を出力しません。
- 「色差ビデオ1」...「色差ビデオ1」の映像・音声を出力しません。
- 「色差ビデオ2」...「色差ビデオ2」の映像・音声を出力しません。
- 「しない」...ビデオ入力1～4の全ての映像・音声と色差ビデオ1～2の音声を出力します。



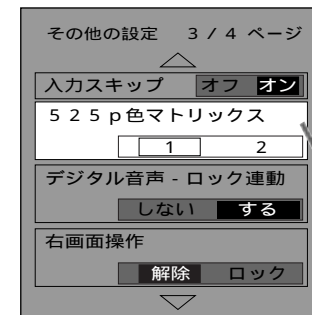
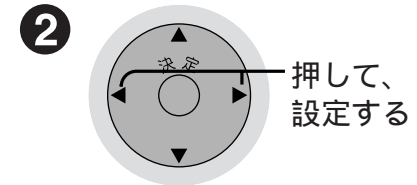
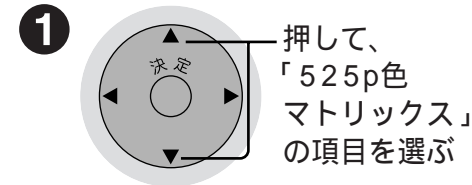
### お知らせ

- 1台のビデオに例えば「ビデオ入力1」と「モニター出力」を接続するときはビデオ1に設定してください。
- i.LINK端子にi.LINK機器を接続しているときは、「ビデオ1～4」「色差ビデオ1、2」以外にi.LINK機器も設定できます。

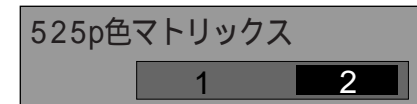
# コンポーネントビデオ入力に525p (順次走査)信号を入力時の設定

「525p色マトリックス」  
コンポーネントビデオ入力端子に接続した機器の出力が525p(480p)方式の場合、接続する機器の色が自然な色あいになるように設定します。

まず、6ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。



●「その他の設定」画面は4ページ構成です。  
 で項目を送ると自動的にページが変わります。



- 「1」.....NTSC(SD)方式の色マトリックス信号の場合。(通常はこちらでお使いください)
- 「2」.....HD方式の色マトリックス信号の場合。



### お知らせ

「525p色マトリックス」は1125i(1080i)や、525i(480i)、750p(720p)出力の機器を接続する場合には関係ありません。

# ビデオ入力などのとき、自動的に画面サイズを切替える「ID-1検出」

ビデオ入力(1~4)の映像信号や、ビデオ入力(1~4)のS2映像信号、コンポーネントビデオ入力(1~2)の525i(480i)又は525p(480p)信号に、画面サイズの識別信号がある場合、画面サイズを自動的に切替えます。

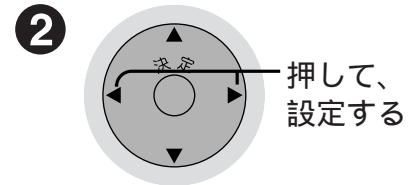
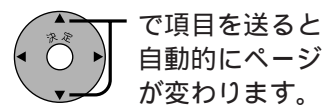
まず、6ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。



1 押して、「ID-1検出」の項目を選ぶ



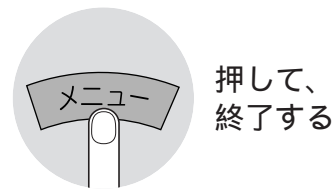
●「その他の設定」画面は4ページ構成です。



2 押して、設定する

ID-1検出 **オフ オン**

- オン...画面サイズの識別信号を検出すると、画面サイズを自動的に切替えます。
- オフ...画面サイズの自動切替をしません。  
(正しく動作しない場合は「オフ」で使用してください。)

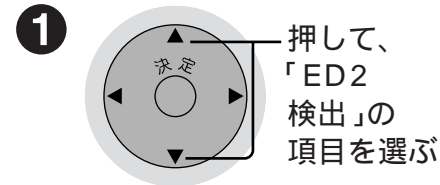


押して、終了する



# 「ワイドクリアビジョン」を受信したとき、自動的に画面サイズを切替える「ED2検出」

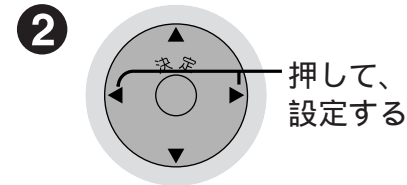
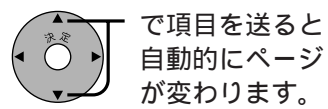
まず、6ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。



1 押して、「ED2検出」の項目を選ぶ



●「その他の設定」画面は4ページ構成です。



2 押して、設定する

ED2検出 **オフ オン**

- オン...「ワイドクリアビジョン」の放送や、映像ソフトをご覧のとき、画面サイズを自動的に切替えます。
- オフ...画面サイズの自動切替をしません。  
(正しく動作しない場合は「オフ」で使用してください。)



押して、終了する

### お知らせ

- ED2検出「オン」設定時(25ページ)も、ID-1検出が優先されます。
- 1画面のとき、ID-1検出が働いて画面サイズが変わると**フル**または**ワイド**と画面表示します。
- 2画面でご覧のときは左右どちらもID-1検出が働きます。

### お知らせ

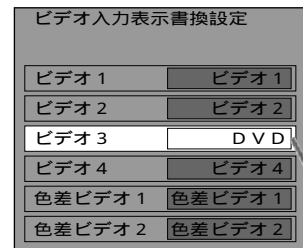
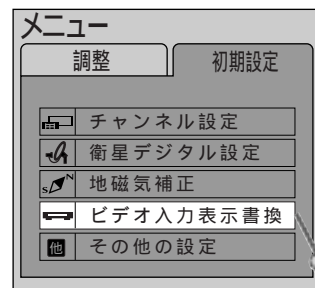
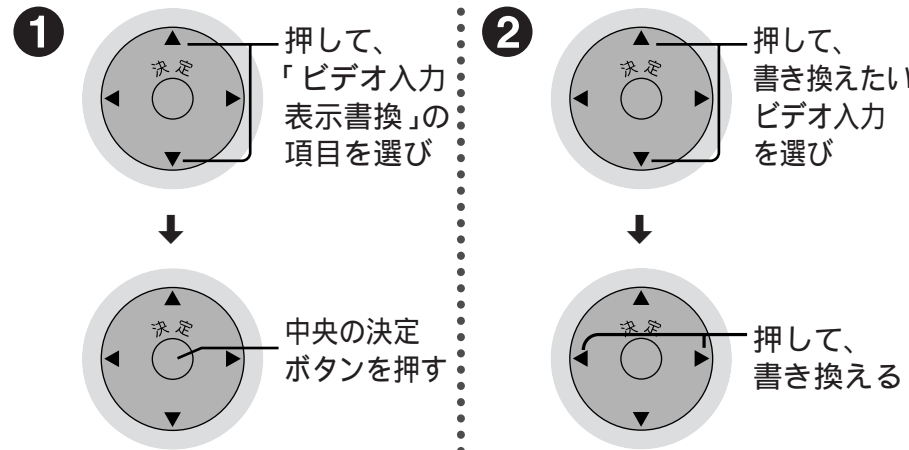
- ED2検出が働いて画面サイズが変わると**ワイド**と画面表示します。
- 2画面でご覧のときはED2検出は働きません。
- 「ワイドクリアビジョン」を受信中に一旦、画面モードを変えると、**ワイド**にはなりません。このときは画面モードボタンを1回押して「セルフワイド」にしてください。

# ビデオ入力を表示を書き換える

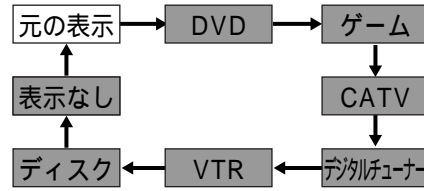
ビデオやゲーム機などの接続に合わせて、ビデオ入力の表示を書き換えることができます。

まず、6ページの手順で「初期設定」メニューを出し、次の操作で設定します。

例) ビデオ3を「DVD」に書き換えるとき



▶を押すごとに...



◀で逆に変化します。

「ゲーム」に設定したときは

- テレビゲームに適した映像、音声に自動調整します。
- テレビゲームを楽しむときは (B編：19ページ)

設定が終わったら  
メニューボタンを押して、終了する

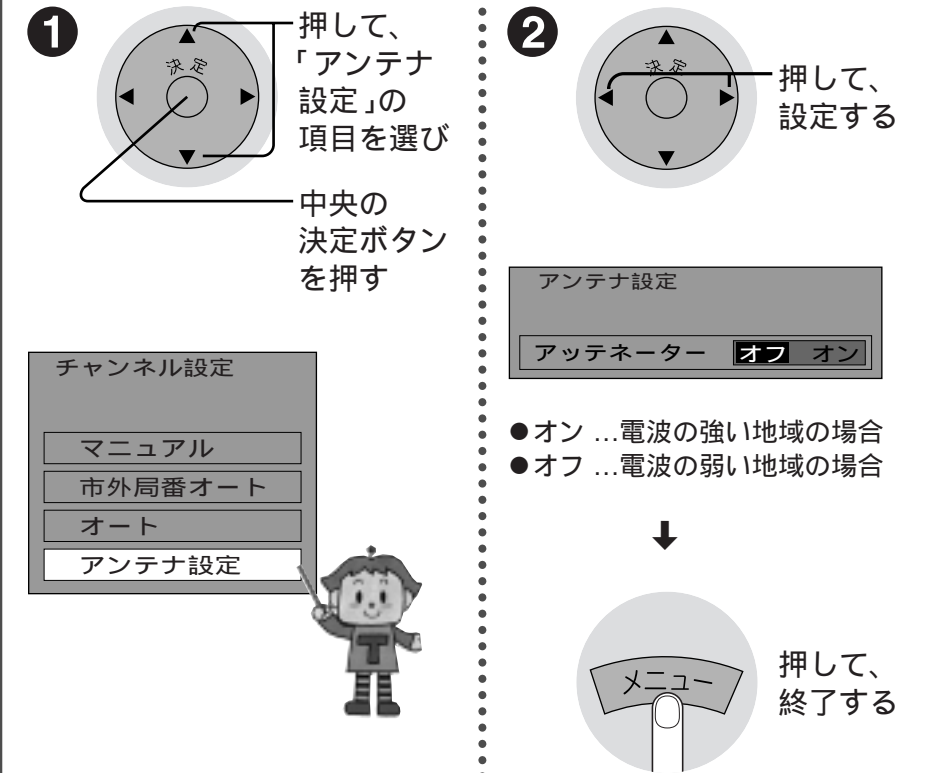
お知らせ

● 表示書換えで DVD や 別チャンネル を選ぶと、各入力に合わせて、見やすい映像に自動調整します。

# 映像が不安定になるとき

テレビの電波が強過ぎる地域などで  
テレビの電波が強すぎて映像が不安定になるときはアッテネーターを「オン」にします。

まず、6、7ページの操作で「チャンネル設定」画面を出し、次の操作で設定します。

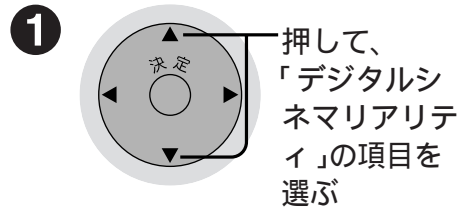


お知らせ

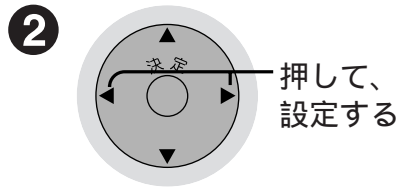
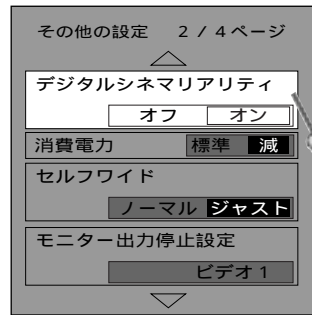
● アッテネーター「オフ」、「オン」は地上波放送 (UHF/VHF) の場合のみ有効です。(衛星デジタル放送には関係ありません)

# 映画フィルムで撮影された映像を忠実に再生する「デジタルシネマリアリティ」

まず、6ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。



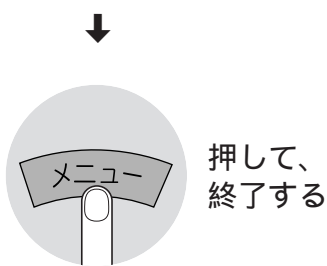
1 押して、「デジタルシネマリアリティ」の項目を選ぶ



2 押して、設定する



- オン ...ふだんは「オン」でご覧ください。
- オフ ...検出を解除したいとき。



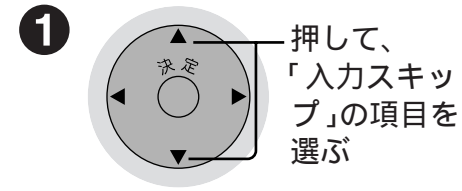
押して、終了する

●「その他の設定」画面は4ページ構成です。  
で項目を送ると自動的にページが変わります。

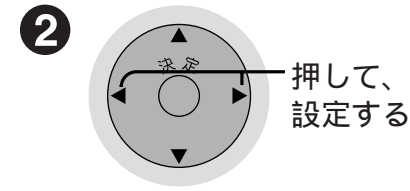
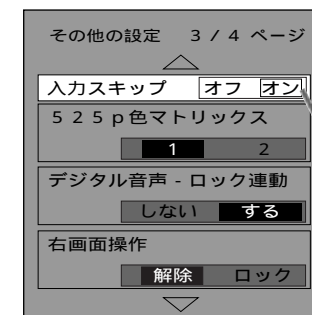


# 接続の無い外部入力をスキップする「入力スキップ」

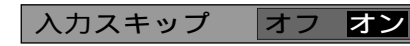
まず、6ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。



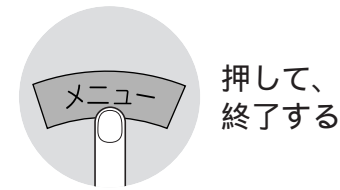
1 押して、「入力スキップ」の項目を選ぶ



2 押して、設定する



- オン ...  を押したとき、接続の無い外部入力には切り替わりません。
- オフ ... 外部機器の接続にかかわらず、 を押すごとに、ビデオ1~4、色差ビデオ1、2に切り替わります。



押して、終了する

●「その他の設定」画面は4ページ構成です。  
で項目を送ると自動的にページが変わります。

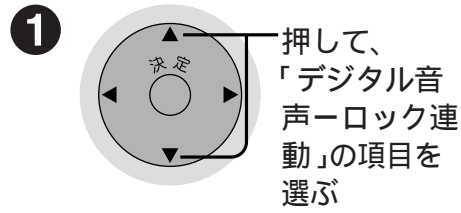
お知らせ

- 「デジタルシネマリアリティ」を「オン」にすると、映画など、毎秒24コマで撮影された再生映像がより高画質にご覧になれます。
- 再生映像を「オン」でご覧になると、不自然な映像になる場合があります。この場合は「オフ」でご覧ください。

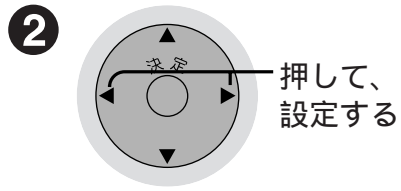
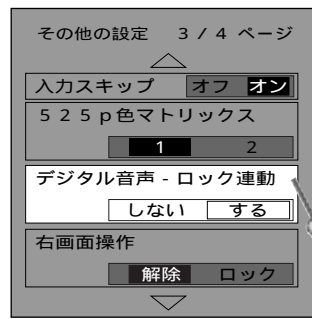
# デジタル音声-ロック連動の設定

予約録画で光デジタル音声端子からの録音中に本機のチャンネルを変えても、音声 realistically に録音できるように設定できます。

まず、6ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。



1 押して、「デジタル音声-ロック連動」の項目を選ぶ



2 押して、設定する

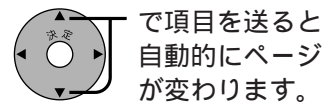


「する」.....予約録画が実行されているとき、予約録画の番組の音声を出力  
 「しない」...現在選局中の音声を出力



押して、終了する

●「その他の設定」画面は4ページ構成です。



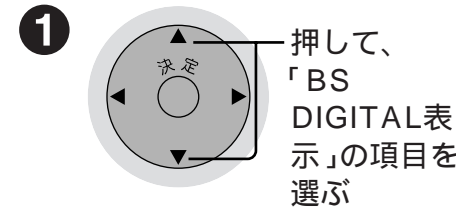
で項目を送ると自動的にページが変わります。



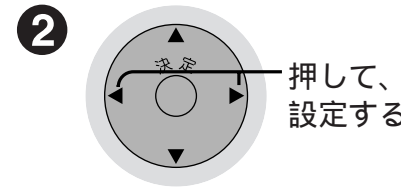
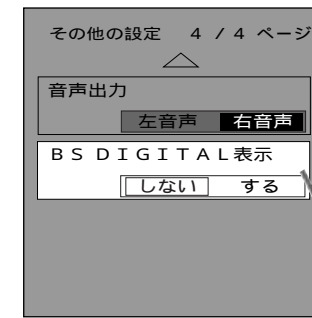
# BS DIGITAL表示を点灯させないとき

本体前面のBS DIGITALマークのランプを点けるか消すかの設定ができます。

まず、6ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。



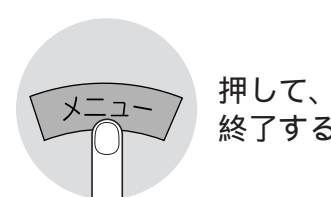
1 押して、「BS DIGITAL表示」の項目を選ぶ



2 押して、設定する

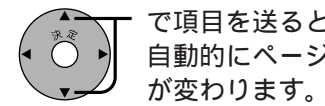


「する」.....BSデジタル放送受信時、本体前面のBS DIGITALマークが点灯します。  
 「しない」...常にBS DIGITALマークは点灯しません。



押して、終了する

●「その他の設定」画面は4ページ構成です。



で項目を送ると自動的にページが変わります。

## お知らせ

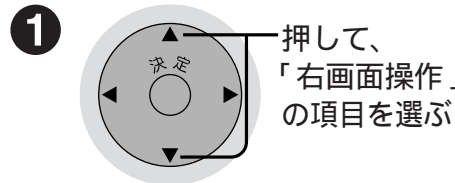
- デジタル音声出力の設定 ( 62ページ ) を「PCM」にしてご使用ください。(デジタル音声出力を「自動」に設定していると、3ch以上のステレオ放送ではAAC出力になります。)
- 衛星デジタル放送の番組により、録音できない場合があります。事前に番組内容を確認してください。( A編 : 13ページ )
- 予約録画とは予約設定で予約方式を「録画」に設定する予約です。( A編 : 22ページ )



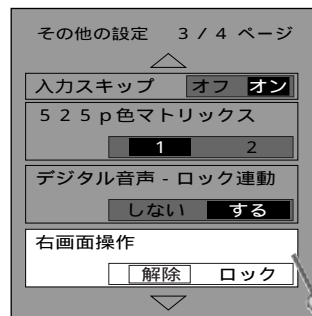
# 右画面の操作を優先させたいとき

「右画面操作」

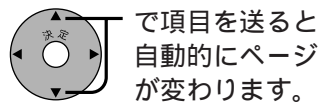
まず、6ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。



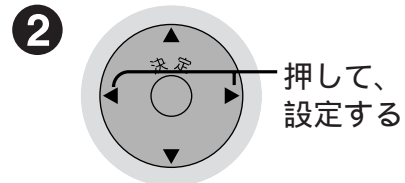
1 押して、「右画面操作」の項目を選ぶ



●「その他の設定」画面は4ページ構成です。



で項目を送ると自動的にページが変わります。

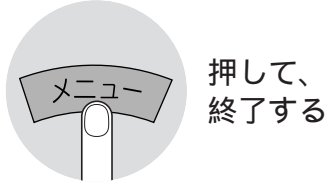


2 押して、設定する



「解除」...右画面操作中に約10秒操作がないと、自動的に右画面操作モードを解除します。

「ロック」...右画面操作ボタンを再度押すまで、右画面操作モードを続けます。



押して、終了する



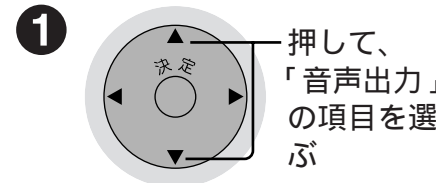
お知らせ

- 右画面操作「ロック」に設定して右画面操作中でも、メニューボタンなどを押して右画面操作アイコンが消えた場合は、操作対象が左画面に切り替わります。

# 音声を聞きたい画面を切換える

「音声出力」

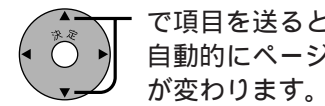
まず、6ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。



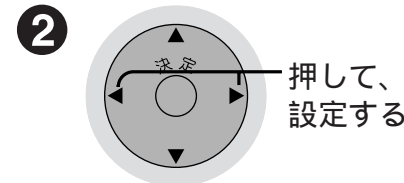
1 押して、「音声出力」の項目を選ぶ



●「その他の設定」画面は4ページ構成です。



で項目を送ると自動的にページが変わります。

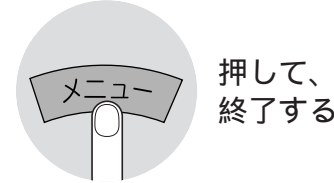


2 押して、設定する



「左音声」...2画面のときに、左画面の音声を出力します。

「右音声」...2画面のときに、右画面の音声を出力します。



押して、終了する

お知らせ

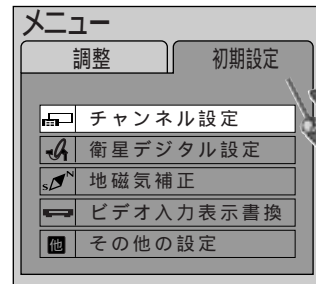
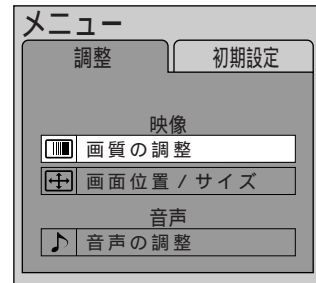
- 1画面のときは、設定できません。
- 「音声出力」の設定に関係なく、映像メニューや音声メニューは常に左画面の設定のものになります。
- 電源を「切」「入」したり、2画面から1画面にすると、設定は「左音声」に戻ります。
- 音声出力の設定を「右音声」に設定中、本機背面のモニター出力からは、右画面の音声を出力します。

# 「衛星デジタル設定」画面を出すとき

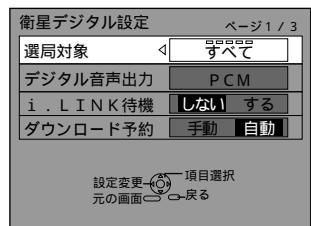
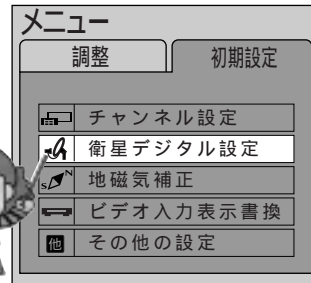
「衛星デジタル設定」画面は、衛星デジタルの各設定や、調整を行うための入り口です。また、「衛星初期設定」画面や「衛星チャンネル設定」画面は、「メニュー」画面から階層状に選択します。ここでは、各設定画面の入り口までの案内をしています。

## 「衛星デジタル設定」画面を出す

- 1 押して、「メニュー」画面を出す
- 2 押して、「初期設定」メニューを選ぶ



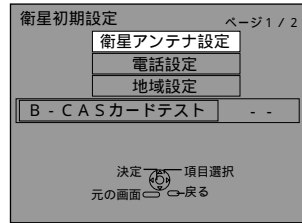
- 3 押して、「衛星デジタル設定」を選び
- 4 中央の決定ボタンを押して、「衛星デジタル設定」画面にする




# 「衛星初期設定」画面/ 「衛星チャンネル設定」画面を出すとき

## 「衛星初期設定」画面を出す

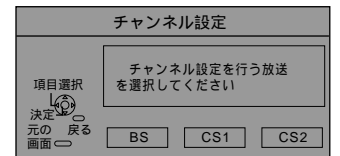
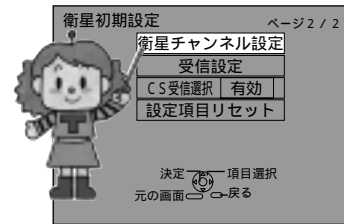
- 3 押して、「衛星初期設定」を選び
- 4 中央の決定ボタンを3秒以上押して、「衛星初期設定」画面にする



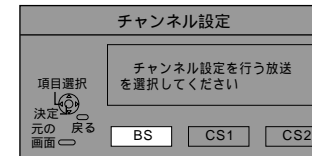
●「衛星デジタル設定」画面は3ページ構成です。  
 で項目を送ると自動的にページが変わります。

## 「衛星チャンネル設定」画面を出す

- 4 押して、「衛星チャンネル設定」を選び
- 5 中央の決定ボタンを押して、「チャンネル設定ネットワーク選択」画面にする




- 6 押して、「BS」「CS1」「CS2」を選び
- 7 中央の決定ボタンを押して、「衛星チャンネル設定」画面にする



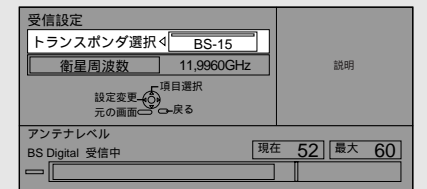
リモコン	CH	種類	チャンネル名
1	1 0 1	BS	NHK BS 1
2	1 0 2	BS	NHK BS 2
3	1 0 3	BS	NHK ハイビジョン
4	1 4 1	BS	BS日本
5	1 5 1	BS	BSアサヒ

例 BSを選ぶ

●「衛星初期設定」画面は2ページ構成です。  
 で項目を送ると自動的にページが変わります。

### お知らせ

- 「衛星初期設定」画面の2 / 2ページに「受信設定」の項目がありますが、この設定は衛星デジタル放送からの指示がない限り変更しないでください。設定を変更すると衛星デジタル放送が視聴できなくなる場合があります。



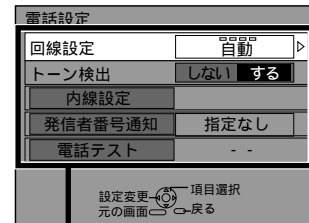
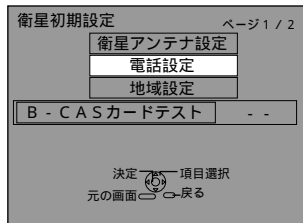
# 電話設定

衛星デジタル放送では電話回線を使って有料放送の料金管理や視聴者参加番組への接続が行われるため、必ず電話回線の接続（53ページ）をしたうえで、電話設定を行ってください。

**まず、** 34、35ページの操作で「衛星初期設定」画面を出し、次の操作で設定します。

## 電話設定画面の出しかた

押し、  
「電話設定」を選び、  
中央の決定ボタンを押して決定する



- 回線設定 -----> 37ページ
- トーン検出の設定 -----> 37ページ
- 内線設定 -----> 38ページ
- 発信者番号通知 -----> 39ページ
- 電話テスト -----> 39ページ

● 各項目の設定、テストを行ってください。



## 回線設定

本機に接続された電話回線に合わせて設定を行います。工場出荷時は「自動」に設定されています。

「回線設定」を選び、  
切替える

- 自動** ... 「電話テスト」を行うと、自動的に電話回線の種別が設定されます。
- プッシュ** ... プッシュ回線を使用している場合に設定してください。
- ダイヤル20** ... 20PPSのダイヤル回線を使用している場合に設定してください。
- ダイヤル10** ... 10PPSのダイヤル回線を使用している場合に設定してください。

設定が終わったら  
元の画面 ボタンを押す

## トーン検出の設定

トーン検出は本機が電話回線につながっているかを検出する機能です。工場出荷時は「する」に設定されています。

「トーン検出」を選び、  
切替える

- する** ... 通常はこの設定でご使用ください。
- しない** ... 受話器を上げても無音で、「ツー」音などが聞こえない内線電話の場合に設定してください。

設定が終わったら  
元の画面 ボタンを押す

### お知らせ

● 1つの電話番号の回線にモジュラー分配器で本機と電話機やファクシミリなどを接続されている場合は、電話機やファクシミリなどの使用中に本機の通信はできません。

次のような症状がでるときは電話回線へ本機に付属のモジュラー分配器を使って本機と電話機やファクシミリなどを接続した場合、一部の電話機やファクシミリで次のような症状がでることがあります。

- 本機から通信を行うと電話機やファクシミリに呼び出し音が鳴る  
この症状がでるときは、付属のモジュラー分配器を使用せずに、市販されている自動転換器（パソコン対応用）を使用すると改善される場合があります。
- 電話機にノイズ（雑音）が入る  
この症状がでるときは、市販されている自動転換器（一般用）または、電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）を使用すると改善される場合があります。  
詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。

### お知らせ

- 電話回線の種別がわからないときはご使用の電話機の設定をご確認のうえ、設定してください。また、電話機の設定を見てもわからないときはご加入のNTT営業所にお問い合わせください。
- 押しボタン式の電話機が接続されていてもプッシュ回線ではない場合があります。相手先の電話番号を発信したときに「ピッポッパッポ」と受話器から音が出る場合はプッシュ回線です。
- ターミナルアダプターのアナログポートに接続するときは、回線設定は「プッシュ」にしてください。
- 接続する回線によっては、回線設定「自動」ではうまく働かない場合があります。そのような場合には、接続する電話回線に合わせて設定してください。

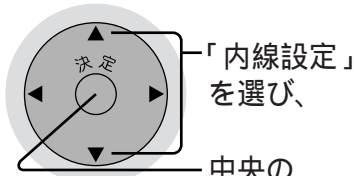
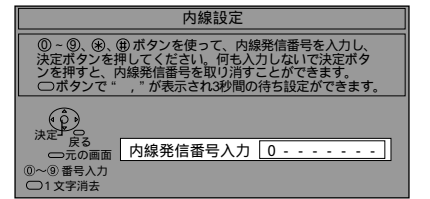
### お知らせ

- 「トーン検出」を「しない」に設定していると、同じ回線に接続の電話機などを使用中に本機で送信操作をすると、使用中の電話機などにダイヤル音が混入し通信障害になります。
- 回線設定が「自動」に設定されているときは、トーン検出は「する」に固定されます。

## 内線設定 外線に電話をするときに0発信などが必要な電話回線に本機を接続の場合のみ、この設定が必要となります。


例 0を設定する場合

**1** 「内線設定」を選び、中央の決定ボタンを押す

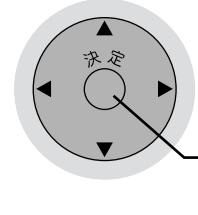



**2** 内線発信番号0を入力し、

スター

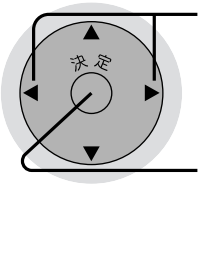
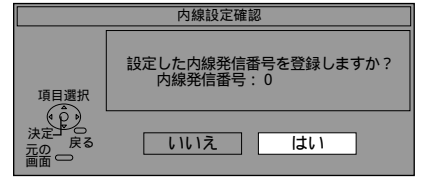


中央の決定ボタンを押す



- 時間待ち設定が必要な場合は、青ボタンを押すことにより「カンマ」が入力され時間待ち設定ができます。「カンマ」1つで3秒間の待ち設定になります。
- 赤ボタンを押すごとに、最後の桁を1つずつ取り消すことができます。

**3** 登録確認画面の「はい」または「いいえ」を選び、中央の決定ボタンを押す

- はい ... 入力した内線発信番号が登録されます。
- いいえ ... 入力した内線発信番号が取り消され「電話設定」画面が表示されます。

設定が終わったら  
元の画面 ボタンを押す

### お知らせ

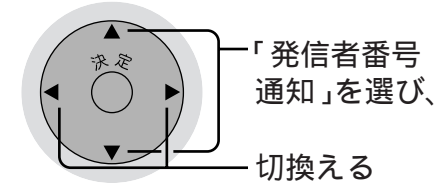
- すでに登録している内線発信番号を取り消したい場合は②の手順で何も入力せずに決定ボタンを押し、③の手順で◀▶ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押してください。
- 戻るボタンで1つ前の画面に戻せます。



## 発信者番号通知

本機が電話をかける際にお使いの「電話番号」を相手に通知するかどうかを設定します。

「発信者番号通知」を選び、切替える



- 指定なし ... 登録している電話番号をそのままダイヤルします。番号通知を通知するかどうかは、お客様が通信事業者と契約されている内容に従います。
- 通知する ... 登録している電話番号の頭に「186」を付けてダイヤルします。
- 通知しない ... 登録している電話番号の頭に「184」を付けてダイヤルします。

設定が終わったら  
元の画面 ボタンを押す

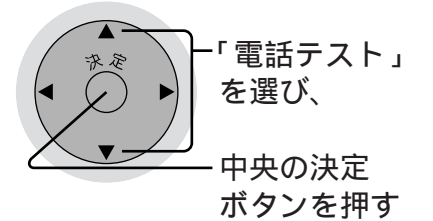
### お知らせ

- 電話テストを行うときは、同じ回線に接続している電話機などが使用されていないことを確認してから行ってください。
- 電話テストで回線接続中は接続先までの電話料金がかかる場合があります。

## 電話テスト

「電話設定」が正しく設定されているか否かを確認します。テストには1分程度の時間がかかる場合があります。

「電話テスト」を選び、中央の決定ボタンを押す



- 電話テストが開始されます。
- 電話テストが終了すると、「電話テスト」の項目にテスト結果が表示されます。
- OK ... 正常終了しました。
- NG ... 不具合が発生しています。画面に表示される説明に従って原因を取り除いてください。
- テスト中 ... テスト中です。
- - ... テストをしていない状態です。

設定が終わったら  
元の画面 ボタンを押す

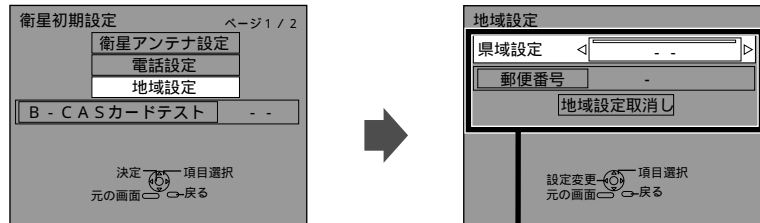
# 地域設定

「地域設定」は、緊急警報放送やデータ放送時にお客様の地域に関する情報を受信するための設定です。

**まず、** 34、35ページの操作で「衛星初期設定」画面を出し、次の操作で設定します。

## 地域設定画面の出しかた

押し、  
「地域設定」を選び、  
中央の決定ボタンを押す



県域設定  
 郵便番号  
 地域設定取消し

41ページ



### お知らせ

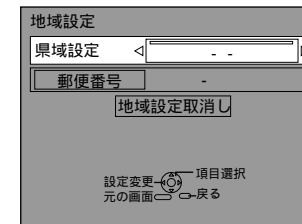
設定が終わったら

- **戻る** ボタンを押す 1つ前の画面に戻ります。
- **元の画面** ボタンを押す 設定画面が消えます。

## 県域設定

お住まいの都道府県を設定します。

押し、「県域設定」を選び、  
都道府県を  
切替える

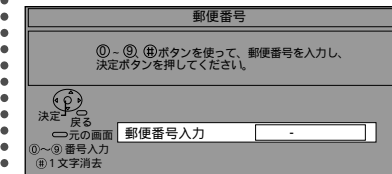


## 郵便番号

お住まいの地域の郵便番号 (7桁) を設定します。

1 「郵便番号」を選び、  
中央の決定ボタンを押す

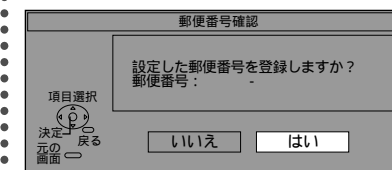
2 7桁の郵便番号を入力し、



中央の決定ボタンを押す

- **#** ボタンを押すごとに、最後の桁を1つずつ取消することができます。

3 登録確認画面の **はい** または **いいえ** を選び、押す



- はい** ... 入力した郵便番号が登録されます。
- いいえ** ... 入力した郵便番号が取消され「地域設定」画面に戻ります。

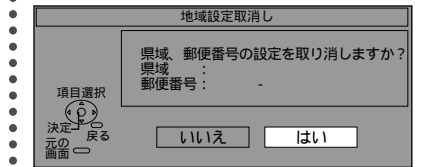
### お願い

- 伊豆、小笠原諸島地域の方は、「東京都島部」を選んでください。南西諸島鹿児島県地域の方は、「鹿児島県島部」を選んでください。

## 地域設定取消し

設定した「県域設定」と「郵便番号」を工場出荷時に戻します。

1 「地域設定取消し」を選び、  
中央の決定ボタンを押す



2 確認画面の **はい** または **いいえ** を選び、  
中央の決定ボタンを押す

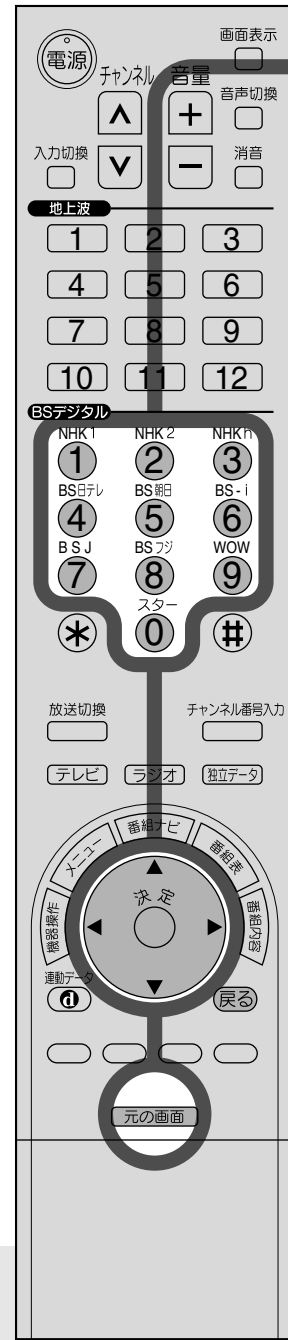
**はい** ... 「県域設定」と「郵便番号」の設定値を工場出荷状態に戻します。

**いいえ** ... 「地域設定」画面に戻ります。

# 衛星チャンネルの設定

リモコンの数字ボタンで選局できるプリセット選局のチャンネルをお好みのチャンネルに設定できます。

**まず、** 34、35ページの操作で「衛星チャンネル設定」画面を出し、次の操作で設定します。



(例) ⑤ ボタンにBSデジタルの102チャンネルを設定する場合

**1** 押して、設定したいリモコン番号を選び、「CH」の項目を選ぶ

リモコン	CH	種類	チャンネル名
1	1 0 1	BS 1	BS 1
2	1 0 2	BS 2	BS 2
3	1 0 3	BS 3	BS 3
4	1 4 1	BS 4	BS 4
5	1 5 1	BS 5	BS 5

リモコン	CH	種類	チャンネル名
1	1 0 1	BS 1	BS 1
2	1 0 2	BS 2	BS 2
3	1 0 3	BS 3	BS 3
4	1 4 1	BS 4	BS 4
5	1 5 1	BS 5	BS 5

リモコンの数字ボタン番号欄      チャンネル番号欄

リモコン	CH	種類	チャンネル名
1	1 0 1	BS 1	BS 1
2	1 0 2	BS 2	BS 2
3	1 0 3	BS 3	BS 3
4	1 4 1	BS 4	BS 4
5	1 5 1	BS 2	BS 2

**2** 押して、チャンネル番号を選ぶ

リモコン	CH	種類	チャンネル名
1	1 0 1	BS 1	BS 1
2	1 0 2	BS 2	BS 2
3	1 0 3	BS 3	BS 3
4	1 4 1	BS 4	BS 4
5	1 0 2	BS 2	BS 2

続けて設定したい場合

押して、「リモコン」の項目を選び手順①から操作する

設定が終わったら

ボタンを押す(設定終了)

- 「チャンネル設定」画面が消えます。

**お知らせ**

- プリセット選局についてはB編：22ページをご覧ください。
- チャンネル番号は、数字ボタンで3桁のチャンネル番号を入力しても選べます。
- 「リモコン」項目の11～30に設定したチャンネルは、選局対象の設定を「好み」にした場合に順送り選局ができます。(A編：42ページ)

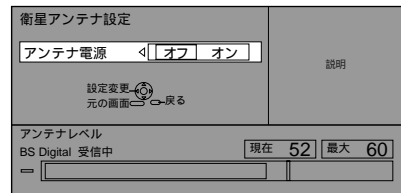
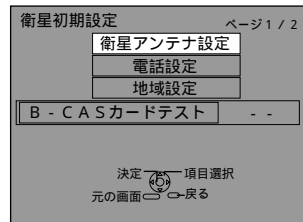
# 衛星アンテナ設定

本機から衛星アンテナのコンバーターへの、電源供給の「オン」/「オフ」を設定します。工場出荷時は「オフ」に設定されています。また、アンテナ入力レベルの確認も行えます。

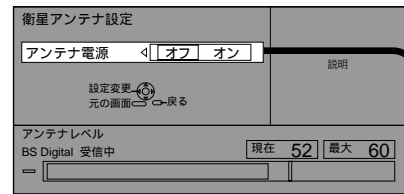
**まず、** 34、35ページの操作で「衛星初期設定」画面を出し、次の操作で設定します。



**1** 押して「衛星アンテナ設定」を選び、中央の決定ボタンを押す



**2** 押して切替える



アンテナ電源 < オフ オン

**オン** ... 個別にアンテナを設置して受信する場合はこの設定でご使用ください。アンテナのコンバーターへ電源が供給されます。

**オフ** ... マンション共聴などで本機以外の機器から電源供給をする場合に設定してください。

設定が終わったら

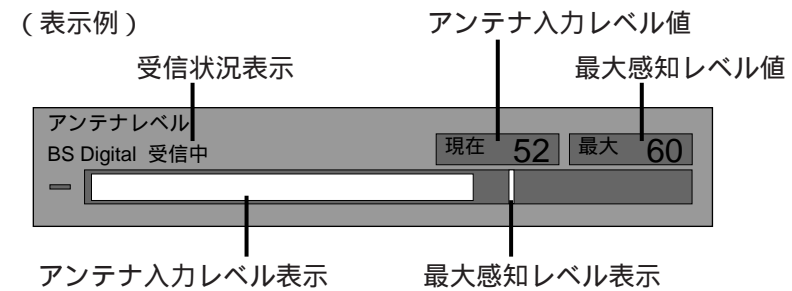
**メニュー** ボタンを押す

## アンテナ入力レベルの確認と調整

「衛星アンテナ設定」画面で現在選局しているチャンネルのアンテナ入力レベルの確認ができます。

アンテナ入力レベル表示を見ながら衛星アンテナの仰角（上下の向き）・方位角（左右の向き）の調整を行ってください。110度CSデジタル放送をご覧になる場合は、110度CSデジタル放送のチャンネル（CS1-001チャンネルまたはCS2-100チャンネル）を選局し、調整してください。

アンテナの向きを調整していくと、受信可能レベルに達したとき「BS Digital 受信中」「SKY PerfecTV! 受信中」などと表示されます。表示が出ている状態でアンテナ入力レベル表示が最大になる向きをさがし、その向きにアンテナを固定してください。



最大感知レベル表示	アンテナ入力レベルの最大値が表示されます。
最大感知レベル値	アンテナ入力レベルの最大値が表示されます。
アンテナ入力レベル表示	現在のアンテナ入力レベルが表示されます。
アンテナ入力レベル値	現在のアンテナ入力レベルが表示されます。
受信状況表示	BS・110度CSデジタル放送を受信すると「受信中」と表示されます。

は放送によって異なります。

### お知らせ

- 引き続き「電話設定」を行う場合は36ページをご覧ください。

### お願い

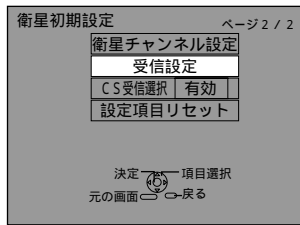
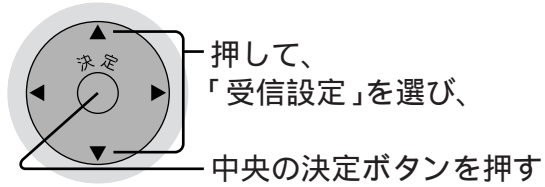
- アンテナの仰角・方位角の調整方法は衛星アンテナの取扱説明書をご覧ください。
- アンテナ調整はアンテナの入力レベルを見る人とアンテナの向きを調整する人が連携を取りながら行ってください。
- 受信状況表示に「他の衛星受信中」と表示されている場合は、BS・110度CSデジタル放送以外の衛星電波を受信しています。正しい向きをご確認のうえ再度、アンテナを調整してください。

### お知らせ

- アンテナの最大入力レベルは、天候、季節、アンテナの調整、受信している地域などにより異なります。
- 110度CSデジタル放送を受信してアンテナ調整を行った場合、それでBSデジタル放送も受信できます。（改たにBSデジタル放送を受信してBS用に調整する必要はありません。）

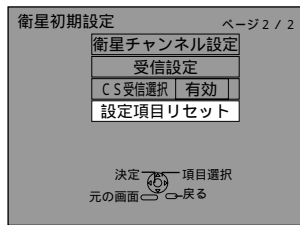
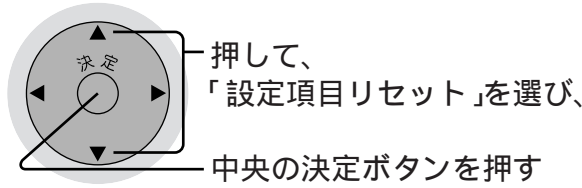
まず、34、35ページの操作で「衛星初期設定」画面を出し、次の操作で設定します。

## 受信設定



「受信設定」画面での設定は、衛星デジタル放送からの指示がない限り行わないでください。設定を変更すると衛星デジタル放送が視聴できなくなる場合があります。

## 設定項目リセット

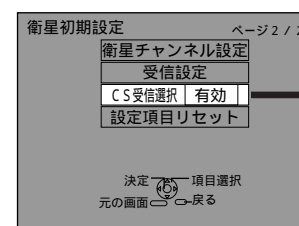
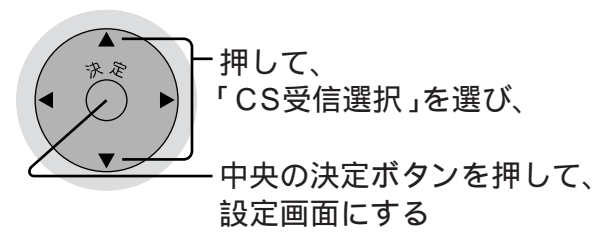


「衛星アンテナ設定」、「電話設定」、「受信設定」の設定値を工場出荷値に戻します。正常に受信できているときは実行しないでください。受信できなくなる場合があります。



## CS受信選択

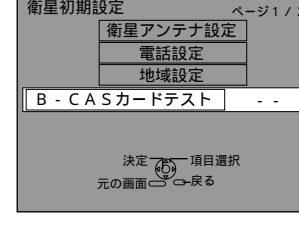
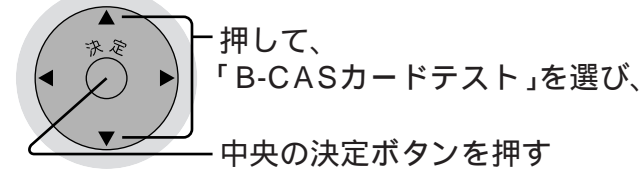
本機で110度CSデジタル放送を受信するかどうかを設定します。



◀▶で「有効」「無効」を選び、中央の決定ボタンを押す。  
有効 ... 110度CSデジタル放送の受信機能が有効になります。(通常は、こちらでお使いください。)  
無効 ... 110度CSデジタル関連の機能が無効になります。BSデジタル放送のみをご覧になる場合に設定すると、使わないCS関連の機能が表示されなくて便利です。

## B-CASカードテスト

B-CASカードの動作テストを行います。本機にB-CASカードを挿入してからテストを行ってください。



B-CASカードの動作テスト結果が表示されます。  
OK ... 正常に動作しています。  
NG ... 正常に動作していません。B-CASカードの挿入方向が間違っていないか、使用できないカードが挿入されていないかなどを確認してください。(P.52ページ)  
テスト中 ... テスト中です。  
-- ... テストをしていない状態です。  
お願い ● B-CASカードを抜き差しした場合は、3秒以上たってからB-CASカードテストを行ってください。

元画面 ボタンを押す



# ダウンロードについて

## ダウンロード機能とは

ダウンロード機能とは、衛星から送られてきたダウンロードデータを本機に取り込む(ダウンロードすることにより、本機自体の制御プログラムを書き換える機能です。

ダウンロードには、大きく分けて2種類あります。

1つは、機能向上などの重要なダウンロード、もう1つは、ダウンロードの内容によってお客様がダウンロードするかしないかの選択ができるダウンロードです。

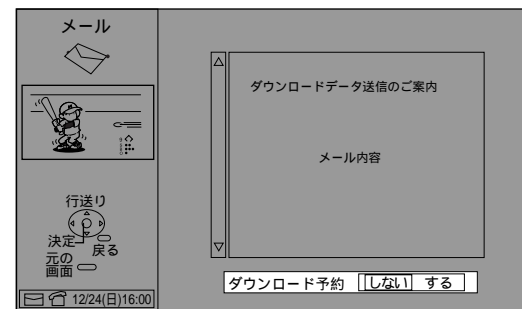
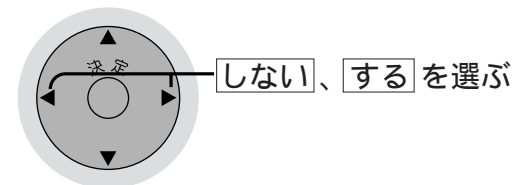
- 重要なダウンロード情報が届いた場合、右頁の「ダウンロード予約」の設定が「自動」なら、電源オフ(機能待機)状態時に自動的にダウンロードが行われます。
- お客様が選択するダウンロード情報や、「ダウンロード予約」を「手動」に設定している場合に重要なダウンロード情報が届いた場合、ダウンロード予約選択メールが届きます。

下記の手順でダウンロード予約の設定を行ってください。

## 「ダウンロード予約選択メール」画面での設定方法

まず、A編：47ページの手順でダウンロード予約のメールを確認する。

本機に届いたダウンロード予約選択メールから「する」を選択することにより、ダウンロード予約が設定され、電源オフ(機能待機)状態時に、自動的にダウンロードを行います。



ダウンロード予約選択メール

- [しない] ... ダウンロードを行わない場合に選びます。
- [する] ... ダウンロードを行う場合に選びます。

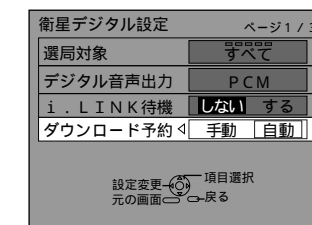
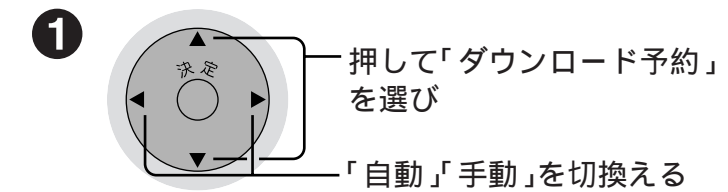
[戻る] ボタンでメールの一覧画面に戻る。



## ダウンロード予約の自動/手動の設定

ダウンロードを行う場合に、重要なダウンロードは自動的に行うか、または、ダウンロード予約選択メールで「する」「しない」を選択してから行うかの設定ができます。工場出荷時は「自動」に設定されています。

まず、34ページの操作で「衛星デジタル設定」画面を出し、次の操作で設定します。



- 「衛星デジタル設定」画面は3ページ構成です。
- で項目を送ると自動的にページが変わります。

- 自動** ... 重要なダウンロード情報が届けば、電源オフ(機能待機)状態時に自動的にダウンロードを行います。(ふだんはこちらでご使用ください。)
- 手動** ... ダウンロード予約選択メールでダウンロードを行うかを選択します。(本機の性能改善など、重要なダウンロードの場合でも、自動的に受けられなくなりますのでご注意ください。)



- 「衛星デジタル設定」画面が消えます。

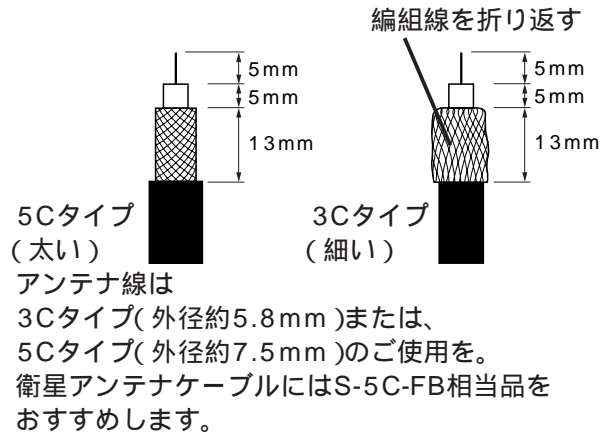
### お知らせ

- ダウンロードが終了すると、メールでダウンロードの実行結果が届くことがあります。(A編：47ページ)
- ダウンロードは、悪天候の時などに失敗する場合があります。この場合、ダウンロード失敗のメールが届きます。(A編：47ページ)

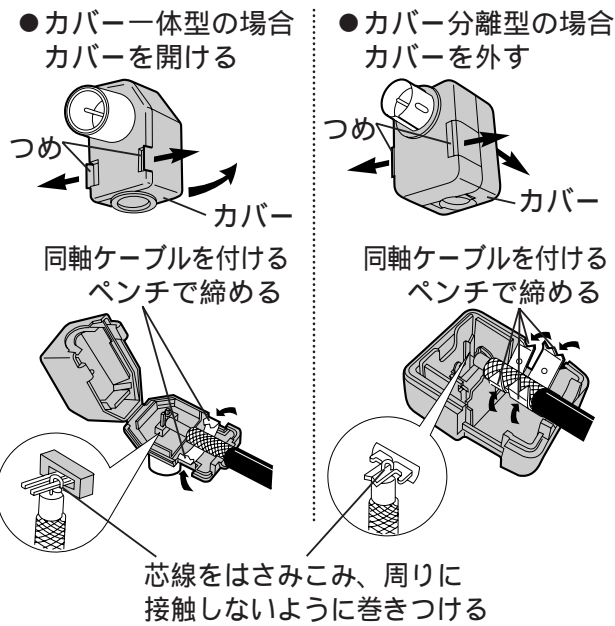
# アンテナ線の接続

## アンテナ線を加工する

### 同軸ケーブル(市販品)を加工する

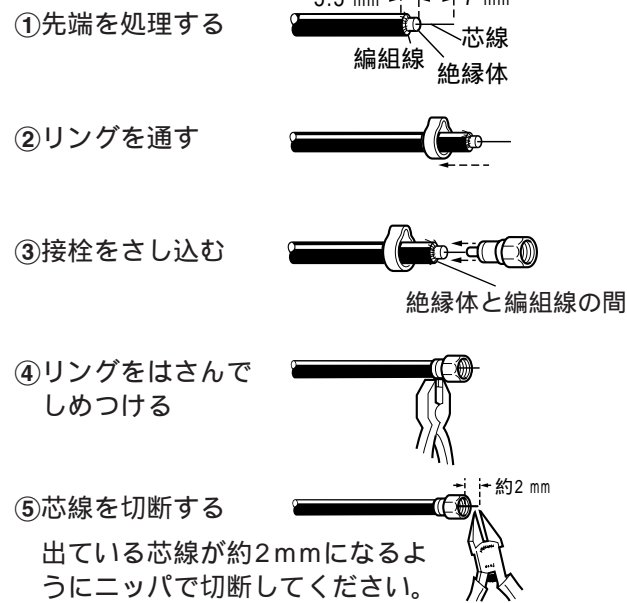


### アンテナプラグ(付属)に取り付ける

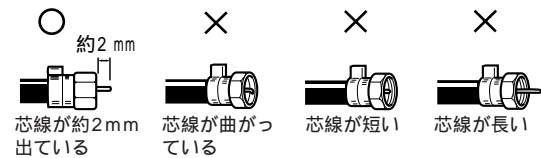


### F型接栓(市販品)を取り付ける

ケーブルの太さに応じたF型接栓(別売)を使用してください。



**お願い**  
ケーブルの先端処理をする場合、芯線に傷をつけないようにしてください。芯線と編組線が接触(タッチ)しないようにしてください。また、先端が曲がっていたり、短かったりしますと接触不良の原因となります。長すぎると、コンバーター部の破損につながる可能性があります。芯線が接栓より約2mm飛び出す状態に加工してください。

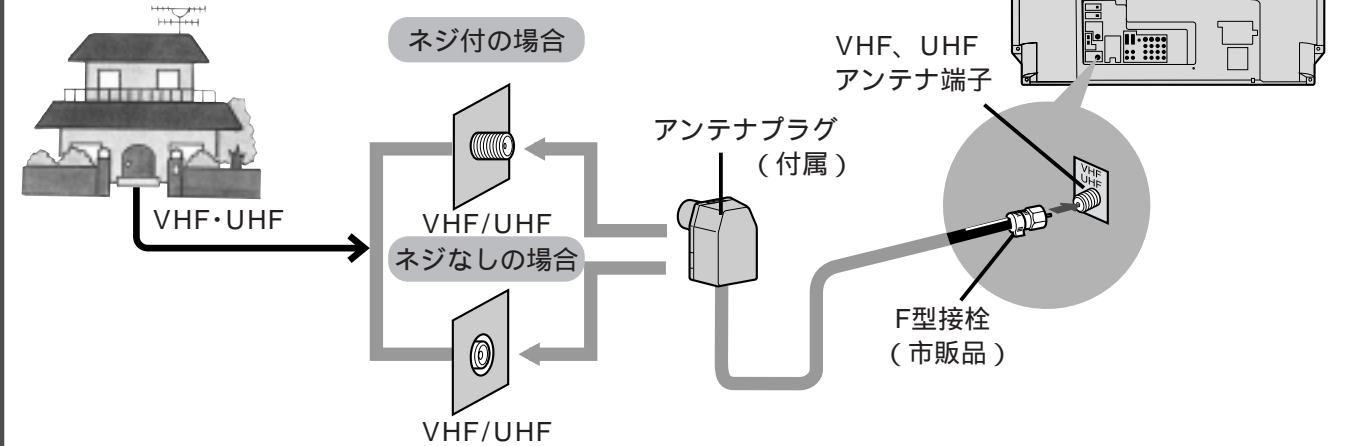


- お知らせ**
- 平行フィーダー線は妨害を受けやすくなりますので、ご使用にならないでください。  
電波が強すぎて映像が不安定になったり、FMラジオ放送の影響で映像・音声に妨害が入る場合は、お求めの販売店にご相談ください。
  - ビデオなどをご使用の場合は、ビデオなどの取扱説明書もご覧ください。

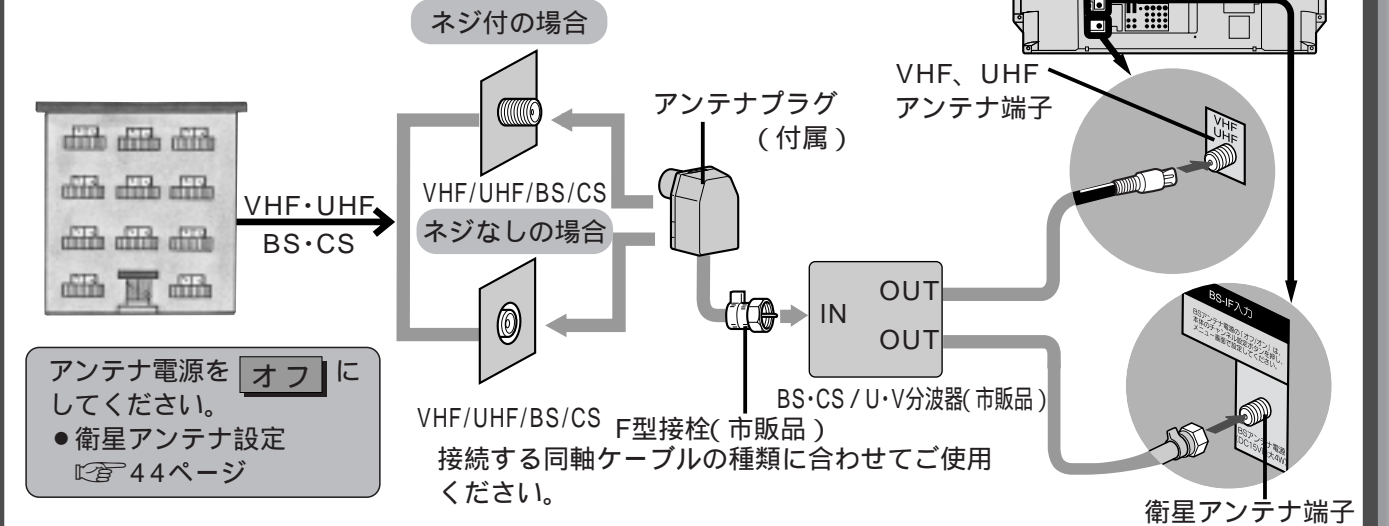
本機が受信できる放送の種類  
 VHF : 1~12チャンネル  
 UHF : 13~62チャンネル  
 CATV : C13~C38チャンネル  
 BS/CS : BS・110度CSデジタル放送  
 (従来のアナログBS放送は受信できません。)

## 壁面にアンテナコンセントがある場合

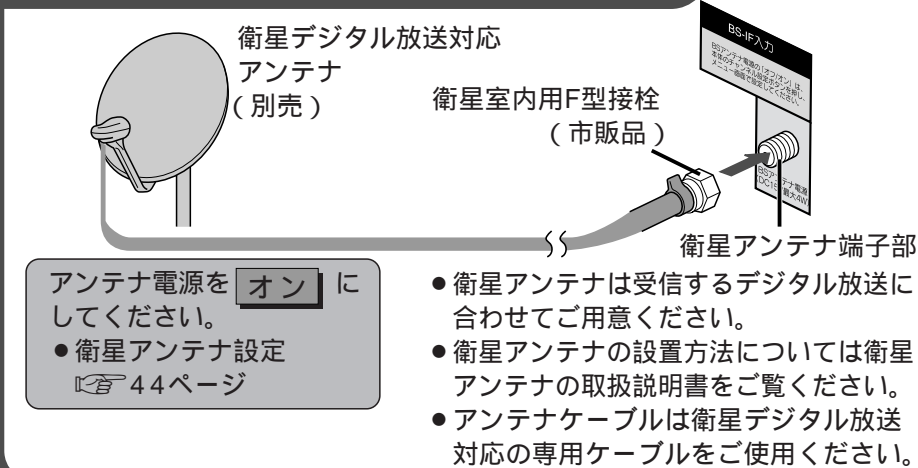
アンテナ線がVHF/UHF混合の場合  
(VHF、UHF別々の場合はアンテナ混合器が必要です。)



マンションなどの共聴システムの場合  
(VHF/UHF/BS/CS混合のとき)



## 衛星アンテナを個別に立てたとき



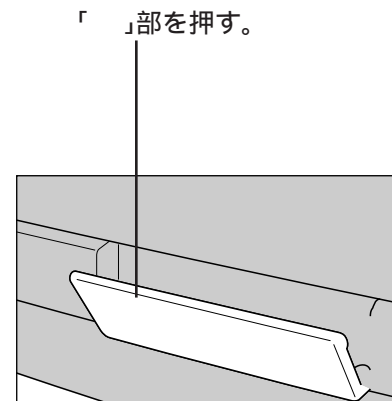
## CATVを受信する場合

CATVの受信は、サービスが行われている地域のみ可能で、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。  
 さらにスクランブル放送(有料)はアダプター(ホームターミナル)が必要です。  
 詳しくは、CATV会社にご相談ください。

# B-CASカードの挿入

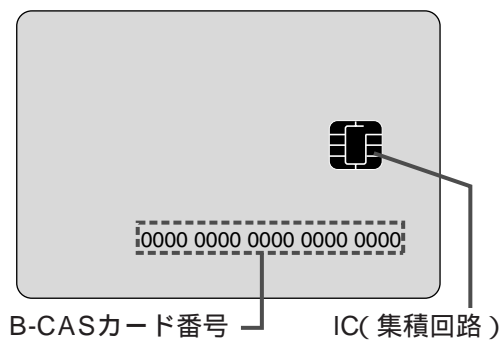
本機に付属のB-CASカードは、本機の電源ボタンで電源を切った状態で、下記の手順に従って挿入してください。

- 1 本機前面の扉を開ける
- 2 B-CASカードを挿入する
- 3 本機前面の扉を閉める



## B-CASカードについて

本機に付属のB-CASカードには1枚ごとに違う番号（B-CASカード番号）が付与されています。B-CASカード番号はお客様の有料放送契約内容などを管理するために使われている大切な番号です。（株）ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターへの問い合わせの際にも必要となりますので、ご確認のうえB編裏表紙の「便利メモ」に記入しておいてください。



### B-CASカード取り扱い上の留意点

- B-CASカードを折り曲げたり、変形させないでください。
- B-CASカードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
- B-CASカードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
- B-CASカードのIC（集積回路）部には手をふれないでください。
- B-CASカードの分解加工は行わないでください。
- B-CASカードは左記手順をご覧のうえ、本機前面のB-CASカード挿入口に、正しく挿入してください。B-CASカードを挿入しないと、有料放送を視聴することができません。
- ご使用中にB-CASカードの抜き差しはしないでください。BSデジタル放送が視聴できなくなる場合があります。

### B-CASカードを抜くとき

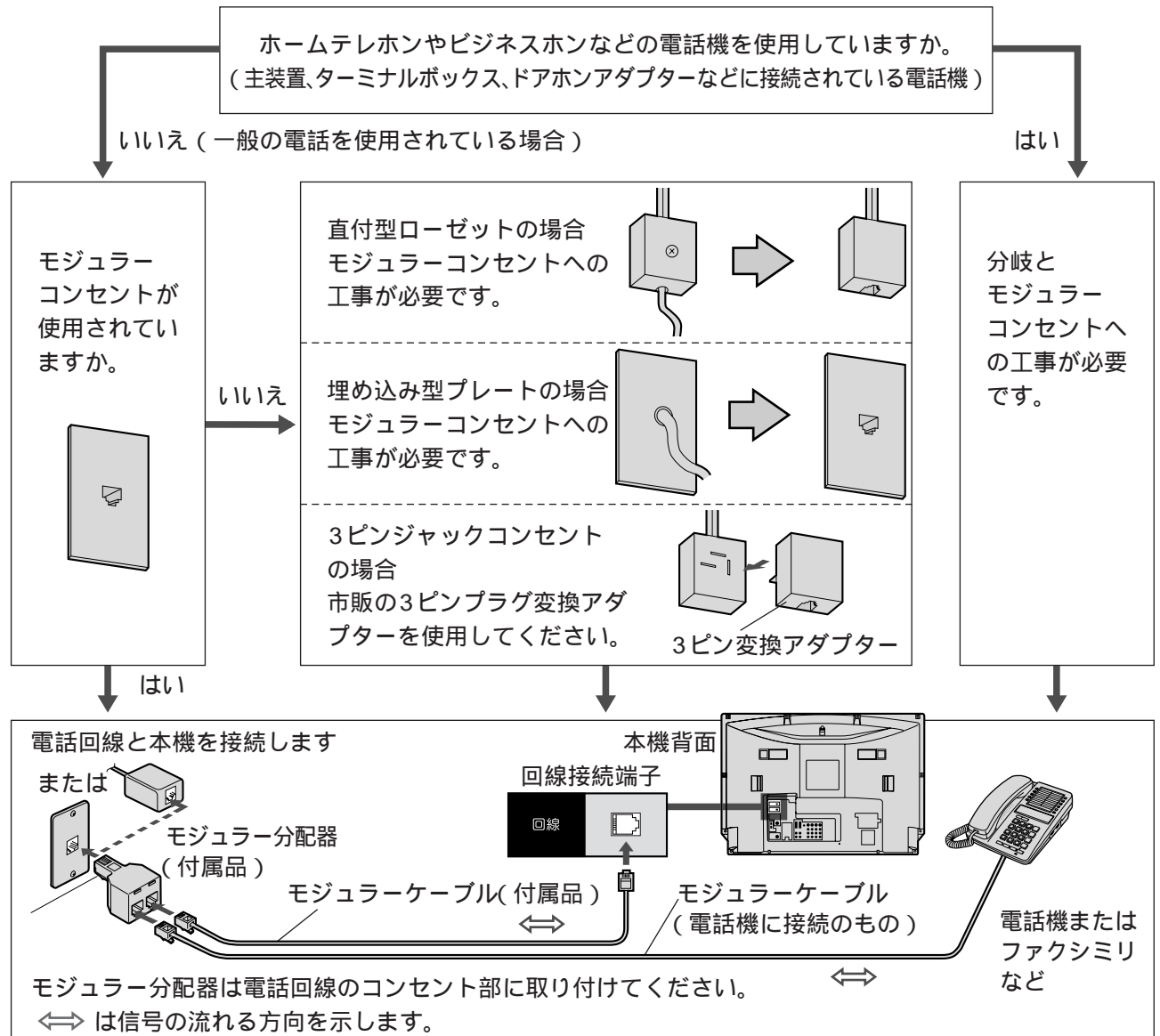
万一、抜く必要があるときは、本体の電源ボタンを「切」にしたあと、ゆっくりとB-CASカードを抜いてください。B-CASカードにはIC（集積回路）が組み込まれているため、画面にB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差しをしないでください。

### お願い

- B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えるとB-CASカードは機能しません。

# 電話回線の接続

下記の手順に従って電話回線の接続形態を確認してから、本機との接続を行ってください。



### 以下の電話回線には接続できません

- ISDN回線 (ただし、ISDNのターミナルアダプターにアナログポートがある場合は接続できます。)
- デジタル方式の構内交換機に接続されている電話回線。
- 「内線設定」が、9桁以上必要な構内交換機の電話回線。

### お願い

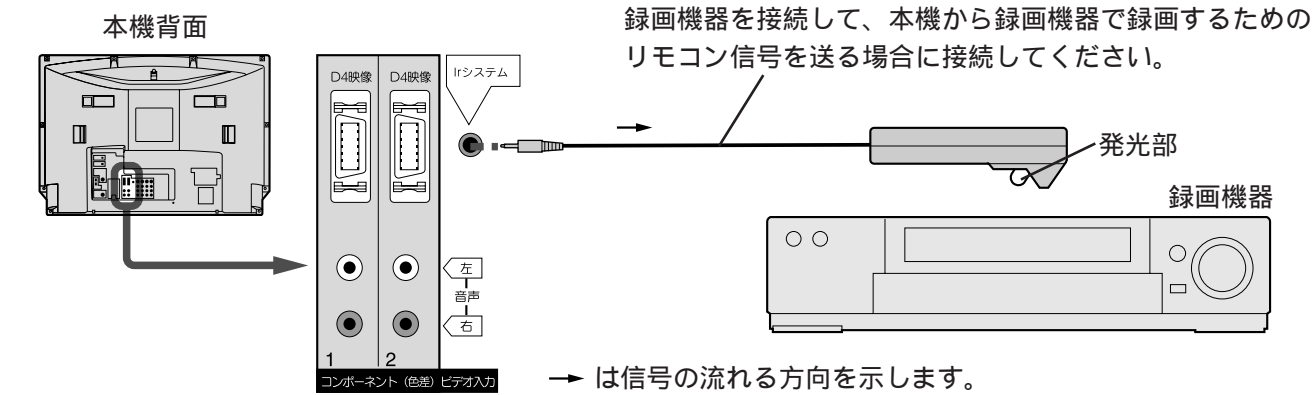
- 電話回線に関する工事は資格を受けた人（工事担当者）でなければ行えません。ご加入のNTT営業所または局番なしの116に工事のお問い合わせをしてください。
- モジュラー分配器は本機の回線接続端子に差し込まないでください。取り外せなくなる場合があります。
- 付属のモジュラーケーブルは10 mあります。設置場所によってはモジュラーケーブルを壁に沿わせるなどして、邪魔にならないように十分配慮し配線処理をしてください。

### お知らせ

- 付属のモジュラーケーブル (10 m) で長さが足りない場合は、市販のモジュラーケーブルをお買い求めください。
- 1つの電話回線に3つの機器を接続する場合は、市販の3分配用モジュラー分配器をご使用ください。

# Irシステムケーブルを接続する

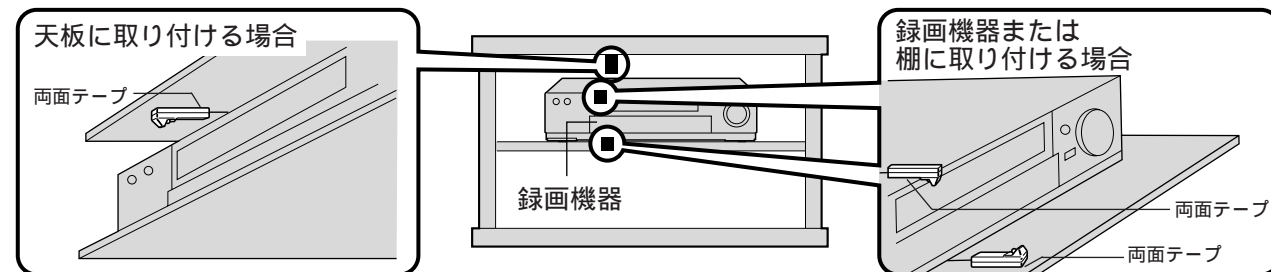
## Irシステムケーブルの接続



## Irシステムケーブルの取り付け

本機背面のIrシステム端子に付属のIrシステムケーブルを接続し、リモコン発光部を録画機器のリモコン受光部に向けて設置すると、本機に接続された録画機器で、衛星デジタル放送の番組を簡単に録画できます。Irシステムを使用できるビデオデッキのメーカーは日立、松下、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、アイワ、NECです。また、松下製およびパイオニア製DVDレコーダーも使用できます。(ただし、一部の商品によっては使用できない場合があります。)

取り付け例...録画機器のリモコン受光部の位置を確認して取り付けてください。(付属の両面テープを使用)



Irシステムを使用して、録画機器で録画をする場合は、58～61ページの手順で事前に設定とテストが必要です。テスト時に録画機器が動作する位置を確認のうえ、Irシステムケーブルを取り付けてください。

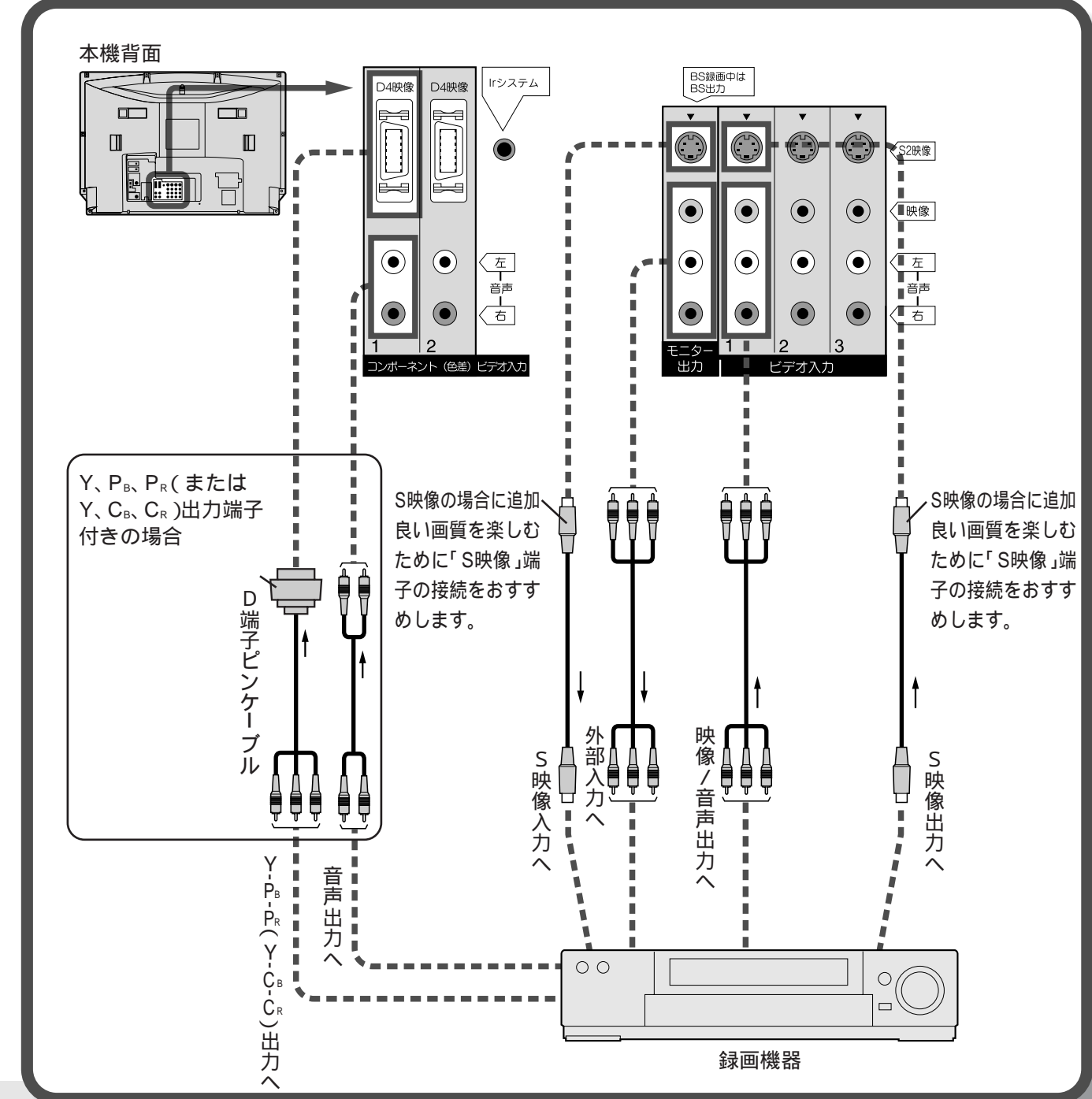
### お願い

- 両面テープは貼り付ける個所のゴミやほこりを取り除いてから貼り付けてください。
- Irシステムケーブルに付属の両面テープは強力なため、棚などに貼り付けたあと、無理にはがすと板の表面を傷める場合がありますのでご注意ください。

### Irシステムとは

- Ir(Infrared: 赤外線)で制御するシステムです。

# 録画機器を接続する



### お知らせ

- 接続時は必ず各機器の電源を切ってください。(接続コード市販品)
- は、信号の流れを示しています。
- 録画機器の説明書も参照ください。

「連動予約」や「タイマー予約」(A編: 26ページ)をするときは...

- Irシステムケーブルの接続(54ページ)と、「Irシステム設定」(58～61ページ)を行ってください。
- 衛星デジタル放送を録画予約すると、リモコンで電源「切」のとき、機能待機ランプ 橙 が点灯します。(予約録画の開始時刻まで長時間かかるときは、最初<赤>ランプで予約時刻が近づいてから<橙>ランプになる場合もあります。)

D端子ピンケーブルは市販品をお求めください。

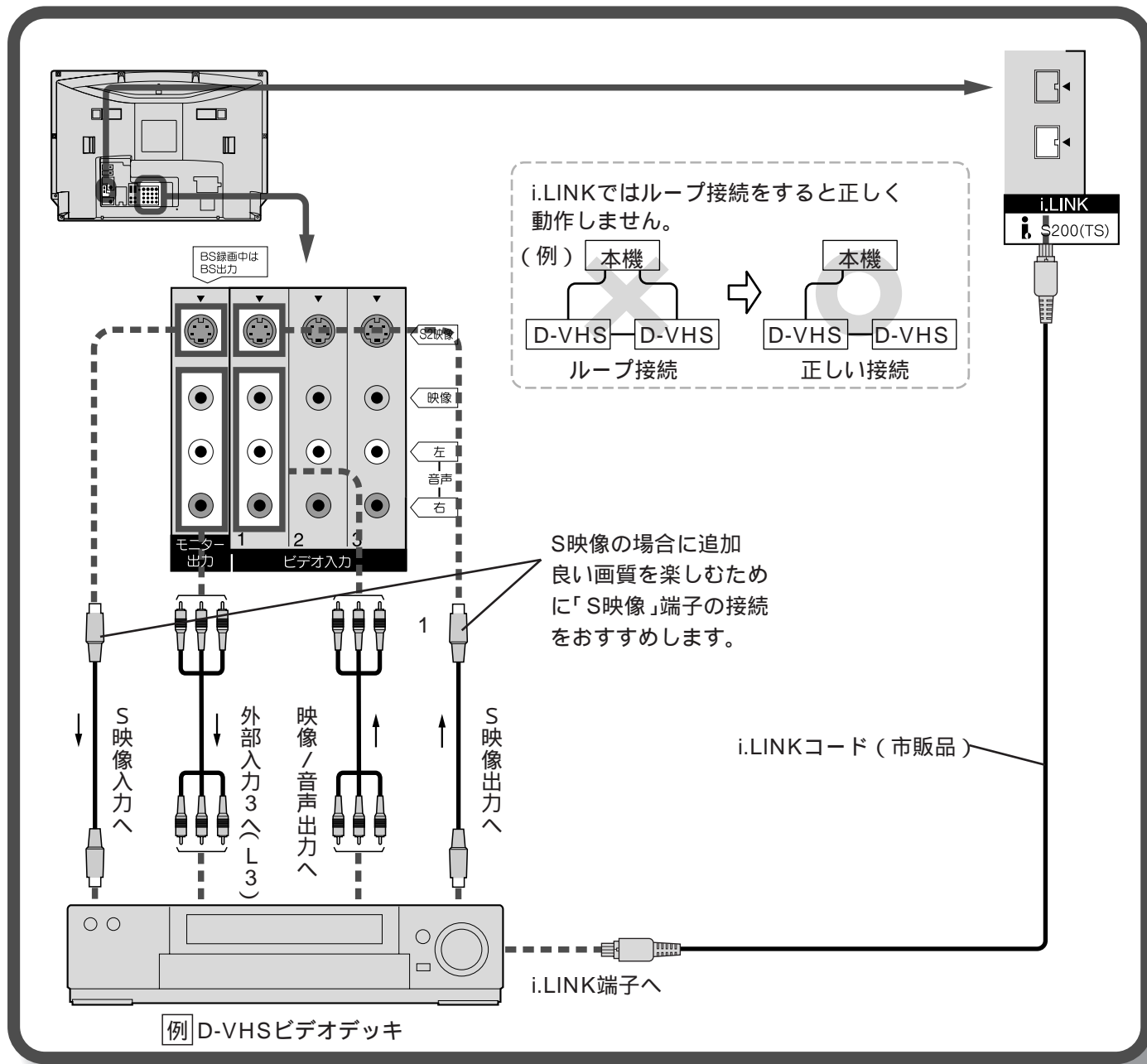
i.LINK対応の

## D-VHSビデオデッキやハードディスクビデオレコーダー

本機のi.LINK端子には、i.LINK対応の日立製D-VHSビデオデッキやハードディスクビデオレコーダーが接続できます。

i.LINK接続すると各接続機器へ簡単に録画予約の設定が行え、また本機のリモコンで基本的な操作が行えます。

i.LINKについては、A編：50ページをご覧ください。



1：アナログ接続設定で接続した機器の入力を「ビデオ1」に設定してください。(P.64ページ)

**お願い**

- i.LINKコードは市販のS200対応以上の4ピンi.LINKコードをご使用ください。
- i.LINKコードはプラグ部を持って、端子にまっすぐに差し込んでください。斜めからは入りません。
- D-VHSビデオデッキの説明書も参照ください。

**お知らせ**

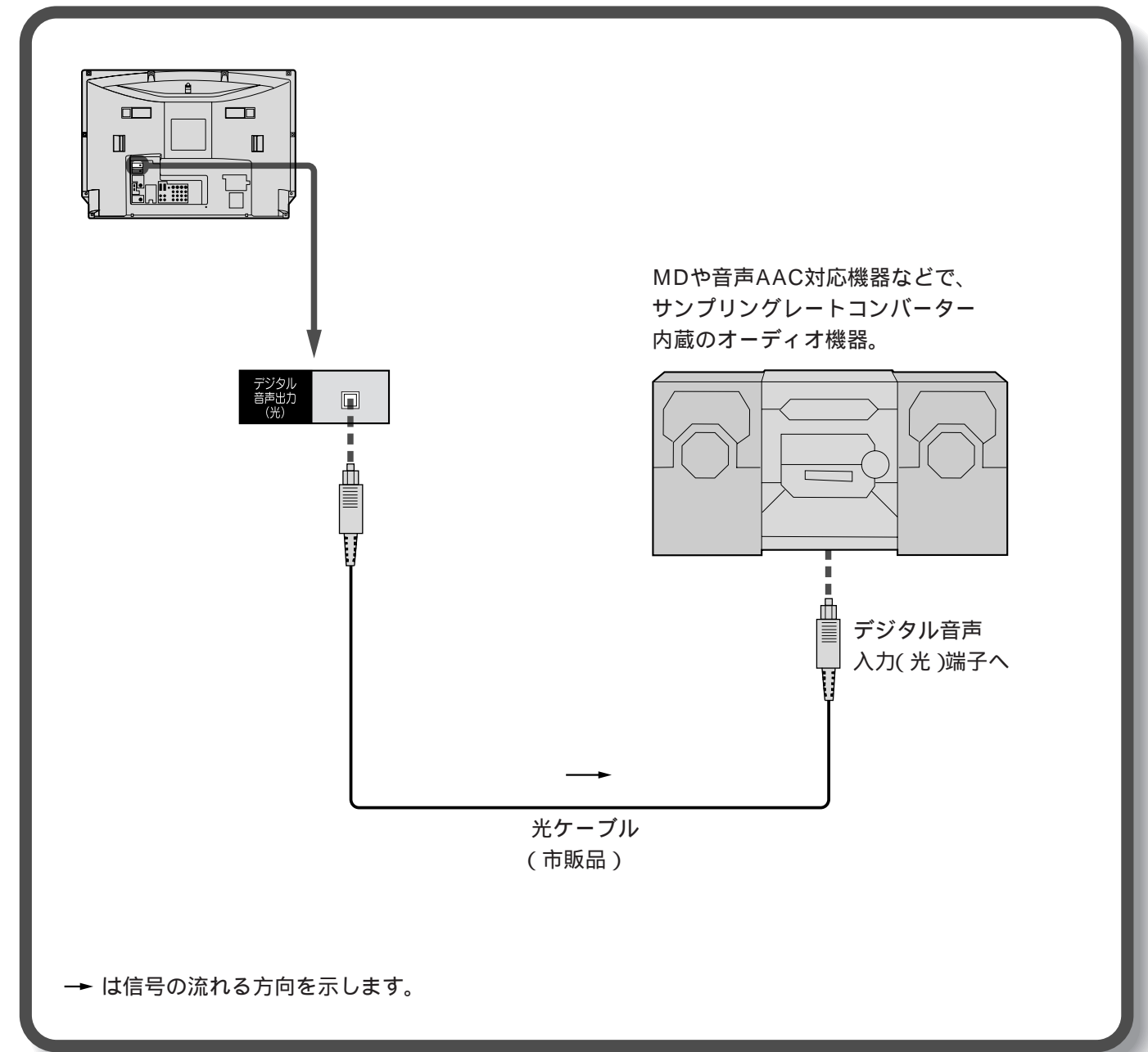
- i.LINK対応機器は、2つあるi.LINK端子のどちらに接続しても使用できます。

**D-VHSビデオデッキとは**

VHS方式のビデオデッキを基盤にした新しいVHS方式で、デジタル放送などのデジタルデータをそのまま記録することができます。(衛星データ放送の情報もそのまま録画、再生できます。)また、従来のVHS方式での録画、再生も行えます。但し、110度CSデジタル放送の録画・再生について、対応できない機器があります。

## デジタル音声入力端子付きオーディオ機器

本機の光デジタル音声出力端子は、デジタル音声入力端子付きのオーディオ機器が接続できます。また、本機はAACフォーマットに対応のため、AACフォーマット対応のオーディオ機器にも接続できます。AACフォーマットをご利用になるには、「デジタル音声出力」の設定変更が必要です。(P.62ページ)



**お願い**

- 光デジタル音声出力端子を使用するときは端子に差し込まれているカバーを引っぱって取り外してください。本機の光デジタル音声出力端子は、衛星からの信号をそのまま出力していますので、送信されてくるサンプリング周波数に対応していないオーディオ機器は使用できません。(送信されるサンプリング周波数には、32kHz、44.1kHz、48kHzなどがあり、サンプリングレートコンバーター内蔵のオーディオ機器が必要です。)
- 接続はオーディオ機器の説明書も参照ください。
- SDメモリーカードの音楽再生の場合は、デジタル音声出力されません。

**AAC (Advanced Audio Coding) とは**

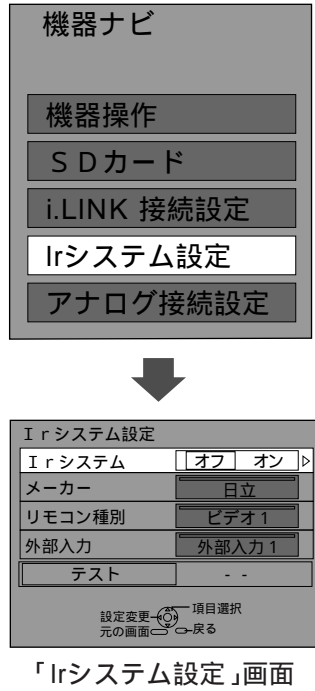
AACとは、音声符号化の規格の一つです。AACは、CD(コンパクトディスク)並みの音質データを約1/12にまで圧縮できます。また、5チャンネル+低域強調チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

# Irシステムの設定

付属のIrシステムケーブルユニットを使用すると、本機と接続した録画機器で録画するための予約ができます。Irシステムが使用できる録画機器メーカーは下記のとおりです。  
(ただし、一部の商品によっては使用できない場合もあります。)

## 「Irシステム設定」画面にする

- 1 機器ナビを押して切替える
- 2 押して、「Irシステム設定」を選び、中央の決定ボタンを押す



「Irシステム設定」画面

設定が終わったら

元の画面 ボタンを押す

<連動予約が設定可能な録画機器メーカー>

日立、松下、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、アイワ、NECのビデオデッキおよび松下製、パイオニア製のDVDレコーダー

●タイマー予約は、1989年以降発売の松下製タイマー予約機能付ビデオデッキおよび松下製DVDレコーダーのみに設定できます。

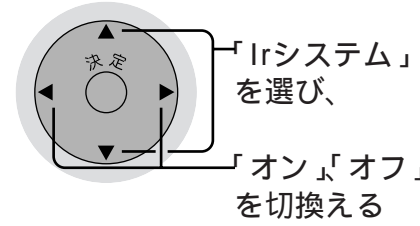
(連動予約、タイマー予約についてはA編：31ページをご覧ください。)

54ページに記載のIrシステムケーブルを正しく接続、設置し、下記のIrシステムの設定とテストを行ってください。



## 「Irシステム」の設定

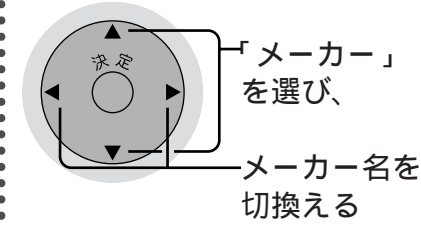
Irシステムを使用するかしないかの設定を行います。工場出荷時は「オフ」に設定されています。



- オン ... Irシステムを使用します。
- オフ ... Irシステムを使用しません。

## 「メーカー」の設定

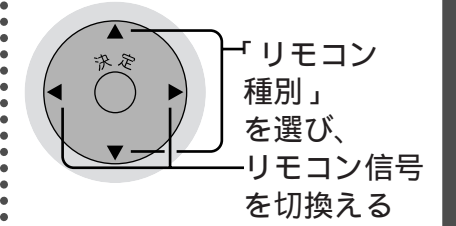
本機に接続している録画機器メーカーを設定します。



本機で設定できる録画機器メーカーは、日立、松下、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、アイワ、NEC、パイオニアです。(ただし、一部の商品によっては使用できない場合もあります。)  
工場出荷時は「日立」に設定されています。

## 「リモコン種別」の設定

「メーカー」の設定をしても録画機器が動作しないとき、録画機器が動作するリモコン信号を切替えます。



### お願い

- メーカーの設定が「松下」のとき、リモコン種別の設定が「ビデオ4」「ビデオ5」で動作する松下製ビデオデッキを接続された場合は、本機のタイマー予約機能は動作しません。連動予約機能を使うかビデオデッキ側でタイマー予約の設定を行ってください。

### お知らせ

- 既にIrシステムを使用し予約している場合は、Irシステムの設定変更はできません。

### お知らせ

「Irシステム」の設定は...

- Irシステムを「オン」にした場合は、「メーカー」の設定、「リモコン種別」の設定、「外部入力」の設定を行い、テスト(61ページ)を行ってください。

「リモコン種別」の設定は...

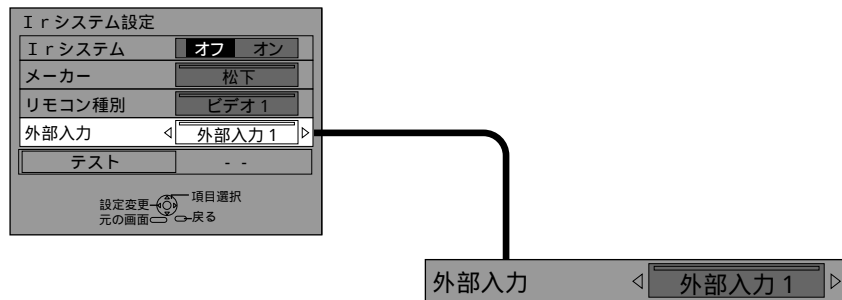
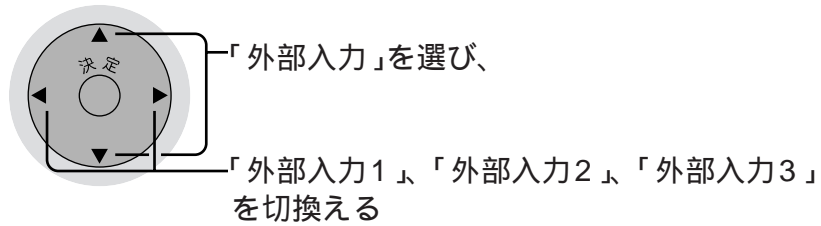
- 録画機器のリモコン信号にはメーカーによって複数ある場合があります。テストを実行しても録画機器が動作しない場合は、他のリモコン信号に切替えて再度テストを行ってください。  
工場出荷時は「ビデオ1」に設定されています。
- 各社とも複数のリモコン信号があるため、接続される録画機器が動作するリモコン信号に設定してください。

# Irシステムの設定

**まず、** 58ページの操作で「Irシステム設定」画面にし、次の操作で設定します。

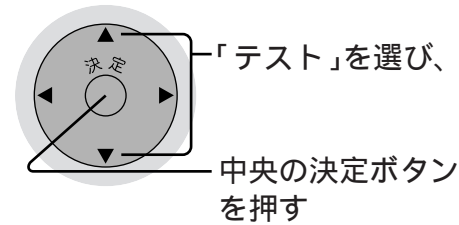
## 「外部入力」の設定 松下製録画機器を接続し、タイマー予約をする場合に設定します。

- 58、59ページの設定で「メーカー」の設定を「松下」、かつ「リモコン種別」の設定が「ビデオ1」又は「ビデオ2」、「ビデオ3」、「DVDレコーダー1~3」のときのみ設定できます。(工場出荷時は「外部入力1」に設定されています。)



## テスト 58~60ページの設定後、次の操作で録画機器の動作を確認してください。

- 録画機器側が予約待機状態や予約録画実行中でないときに行ってください。
- テストを実行すると録画機器に電源「入」/「切」のリモコン信号を繰り返し送信します。録画機器の電源が「入」/「切」するかどうか確認してください。



- 「送信中」が表示され、電源「入」/「切」のリモコン信号が繰り返し送信されます。
- 送信を終了したい場合は、再度 ボタンを押してください。

### お願い

- 「外部入力」の設定は、必ず本機と接続している録画機器の外部入力端子番号に設定してください。この設定を間違えると本機でタイマー予約の設定をしても衛星デジタル放送の番組は録画できません。

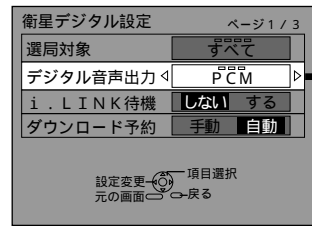
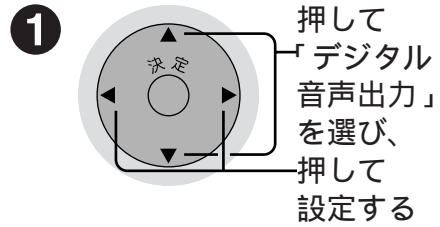
### お知らせ

- 録画機器の電源が「入」/「切」しない場合は
- ① 録画機器が録画機器のリモコンで「入」/「切」できるか確認してください。
  - ② Irシステムケーブルの接続と設置を確認してください。(P.54ページ)
  - ③ リモコン信号が複数あるメーカーの場合、「リモコン種別」の設定を変えてみてください。
- 「テスト」のリモコン信号を受け付けない録画機器の場合は、本機のIrシステムは使用できません。この場合、Irシステムの設定を「オフ」にして、録画機器側で録画操作を行ってください。
  - テストの信号を送信しながらメーカーの設定などを変えることはできません。テストを実行中にカーソルを移動させると、テストは中止されます。

# デジタル音声出力の設定

本機の光デジタル音声出力端子は、AACフォーマットの音声データを出力することができます。AACフォーマット対応のオーディオ機器に接続すれば、AACフォーマット対応の番組では、迫力ある音声をお楽しみいただけます。

**まず、** 34ページの操作で「衛星デジタル設定」画面を出し、次の操作で設定します。



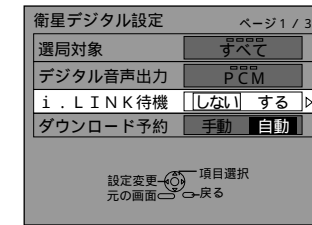
- PCM** ... AACフォーマットに対応していないオーディオ機器を接続する場合に設定します。
- AAC** ... AACフォーマットに対応しているオーディオ機器を接続する場合に設定します。
- 自動** ... AACフォーマットに対応しているオーディオ機器を接続する場合に設定します。サラウンド・ステレオの番組の場合にのみ自動的に「AAC」に切替えます。



# i.LINK待機の設定

本機では電源オフのとき、i.LINKの接続機器からの制御を受け付ける設定が選べます。i.LINK対応機器を接続していない場合は、消費電力の少なくなる「しない」に設定してください。

**まず、** 34ページの操作で「衛星デジタル設定」画面を出し、次の操作で設定します。



- しない** ... 電源オフ時の消費電力を少なくします。電源オフにすると、電源表示ランプが赤色に点灯し映像・音声などの信号出力を停止します。またi.LINK接続された機器からの制御の受け付けやi.LINK信号の中継はできません。
- する** ... 電源オフにすると電源表示ランプが橙色に点灯し(「機能待機」状態になります)映像・音声などの信号出力を停止しますがi.LINK接続された機器からの制御は受け付けることができます。(i.LINK接続された機器から再生信号を受け付けると、本機の電源が自動的にオンになります。)

## お知らせ

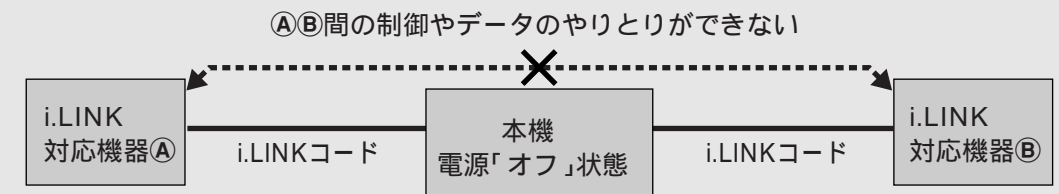
- 工場出荷時は「PCM」に設定されています。
- 地上波放送や、ビデオ入力1～4、コンポーネント(色差)ビデオ入力1、2に接続した外部機器を視聴中、光デジタル音声端子は本設定とは関係なく、常時「PCM」出力します。
- AAC対応アンプを接続する場合、「PCM」と「AAC」の入力に対し自動切換機能のあるものをお勧めします。

## お願い

- 「AAC」に設定した場合、字幕放送やデータ放送の効果音が本機の光デジタル音声出力端子から出力されません。この場合は、「PCM」に設定してください。または、モニター出力の音声端子をご使用ください。

## お願い

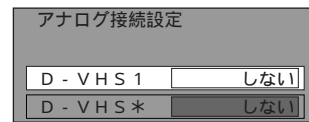
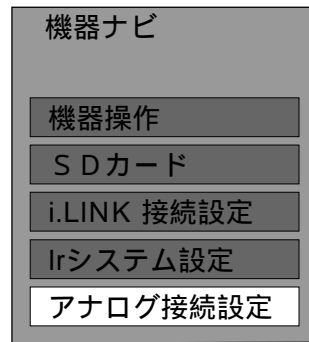
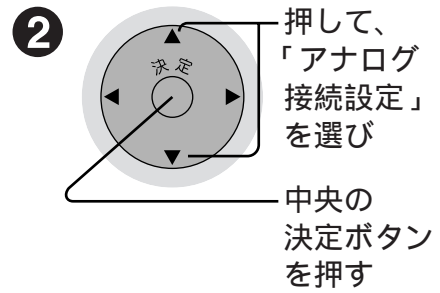
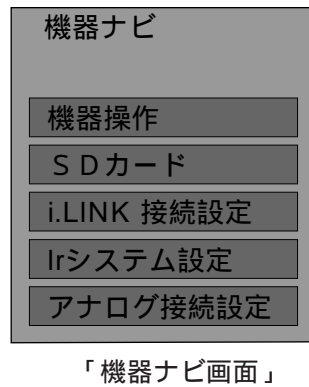
- 複数のi.LINK対応機器をi.LINKコードで接続した場合、「i.LINK待機」の設定を「しない」にして電源オフにすると、本機を中継して接続されている機器間の制御やデータのやりとりはできなくなります。この場合、i.LINK待機の設定を「する」にするとデータのやりとりができます。また、電源オン(受像)時のみi.LINK対応機器を使用する場合は、「しない」に設定してご使用ください。





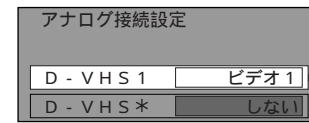
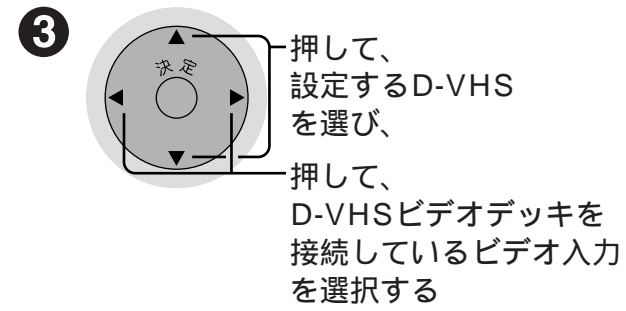
# アナログ接続設定

本機に接続したD-VHSビデオデッキの再生映像が、デジタルからアナログ(又はその逆)に切り換わったとき、本機の入力を切り換えずに、連続して視聴するための設定です。  
D-VHSビデオデッキのビデオ出力から本機に接続されているビデオ入力(ビデオ入力1~4)をご確認のうえ、接続と同じ設定にしてください。

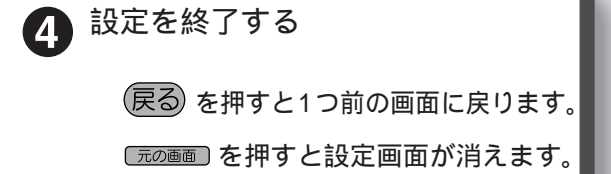
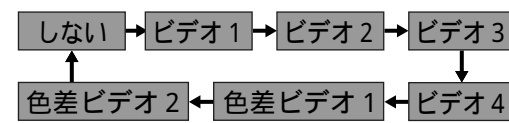
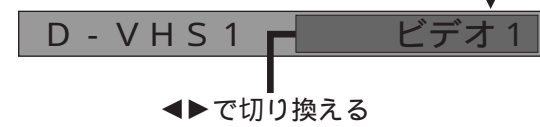


「アナログ接続設定」画面

- \*印は「i.LINK接続設定」で表示される番号です。(A編：54ページ)

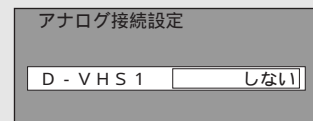


例 D-VHS1のアナログ接続をビデオ1に設定する場合



**お知らせ**

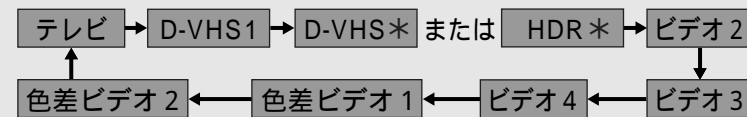
- 接続機器が1台のみの場合は、「アナログ接続設定」画面の項目は1つだけになります。



**お知らせ**

- アナログ接続設定したビデオ入力は、入力切換ボタン操作時、スキップします。

例 D-VHS1を「ビデオ1」に設定した場合



Lined writing area for page 66.

Lined writing area for page 67.